OMRON

仕 様 書

品　名：　無停電電源装置

型式名：　BW40T/BW55T/BW100T/BW120T

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

IoT ソリューション事業本部

OMRON

品名 無停電電源装置	形式 BW40T/BW55T/BW100T/BW120T	貴社仕様書番号

用途

添付図面

・なし

特記事項

■本製品は、日本国内専用品です。

・日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。
また、日本国外の法規制には対応しておりません。

・日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、弊社は一切の責任を負いません。

・お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

■本仕様書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

無償保証期間

購入日より起算して3年間とします。
規定の詳細は、後述する「保証契約約款」を参照のこと。

仕様書の有効期間

本仕様書は発行より 1 年を経過して、受領またはご発注のない場合は無効とさせていただきます。

仕様書変更経歴

本仕様書の記載内容が変更された場合には、改正符号(アルファベット)を記入し、仕様書番号の末尾に改正符号と同じ符号をつけて処理しております。
なお本仕様書の記載内容に影響を与えない範囲での変更を行うことがありますので、予めご了承下さい。

符 号	年 月 日	改 正 内 容
A	2018/1/31	新規作成
B	2018/12/10	特記事項の記載内容変更
C	2019/4/16	自動シャットダウンソフト URL 変更
D	2019/6/10	特記事項の記載内容変更。CE 表記削除。保証約款裁判管轄地変更
E	2020/11/26	バッテリ容量の修正(P8)
F	2021/05/19	ブザー音、表示の見方修正(P23)

目 次

この仕様書は、無停電電源装置 BW40T/BW55T/BW100T/BW120T について記載しています。

1. 製品の用途
2. 使用制限
3. 機器の概要
4. 動作の概要
5. 仕様
6. 各部の名称
7. 設置方法
8. 機器の接続方法
9. 無停電電源装置（UPS）の操作
10. 表示／ブザー ・ 運転動作および機能設定
11. バックアップ時間を測定する
12. 接点入出力機能
13. 保守・点検について
14. 自動シャットダウンソフトを使用する
15. 参考資料
16. 保証契約約款
17. 安全上のご注意

1. 製品の用途

1） 本製品は OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。
以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
・人命に直接関わる医療用機器
・人身の損傷に至る可能性のある用途。（航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する用途
・車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
・故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。
（主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど）
・これらに準ずる機器
2） 人の安全に関与し、また公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要になります。
3） 特に信頼性の要求される重要なシステム等への使用に際しては、当社カスタマサポートセンタへご相談ください。
4） 本製品は、日本国内専用品です。
・日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。
また、日本国外の法規制には対応しておりません。
・日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、弊社は一切の責任を負いません。
・お客様の判断により本製品を輸出（個人による携行を含む）される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
・入力電源は AC100V(50/60Hz)を使用してください。
・UL1778 と VCCI クラス B に適合しておりますが、その他の海外の安全規格や電磁波障害などの規格／規制には対応していません。

2. 使用制限

1） 製品は停電、復電時に 10ms 以下の切替時間が発生します。
10ms 以下の瞬間停電で不具合の発生する機器には使用できません。
2） 高精度の入力周波数が要求される機器等では使用できません。
3） 本製品のバックアップ時の出力波形は正弦波です。
誘導性の機器に使用する時は、必ず事前に確認動作を行ってからご使用ください。
機器の種類によっては、突入電流等の影響で本機が正常に動作しない場合があります。
誘導性の機器とは入力にトランス、コイル、モーターなどを内蔵している機器です。
4） 本仕様書に記載の使用条件・環境などを遵守してください。
5） 装置の改造・加工は行わないでください。
6） 本機をUL規格認定品としてご使用される場合は、運転（電源出力中）状態でのバッテリ交換は行わないでください。運転状態でのバッテリ交換はUL規格に適合していません。必ず本機の運転を停止してバッテリ交換を行ってください。

3. 機器の概要

・ 本製品はOA機器、一般のマイコン関連機器用として電源異常から機器を保護するための小型バックアップ電源で、インバータ回路、DC-DC コンバータ、バッテリ、および充電回路より構成されています。
・ 本製品は常時商用給電方式の無停電電源装置です。
停電時、および入力電圧変動が大きいときなど商用電源の異常を検出したときはバッテリからの給電に 10ms 以内で切り替えて、インバータ出力により正弦波で出力を継続します。
・ 入力定格電圧はAC100V、定格周波数は 50／60Hz です。
・ 入力プラグは、接地形2P 差込みプラグです。
・ 出力定格電圧はAC100Vです。周波数は 50／60Hz で、起動時に入力と同一周波数が自動選択されます。
・ 最大の出力容量は以下の通りです。
BW40T:400VA/250W
BW55T:550VA/340W
BW100T:1000VA/610W
BW120T:1200VA/730W
・ バックアップ時間は以下の通りです。（定格負荷、周囲温度 25℃、初期値）
BW40T:5.4 分以上
BW55T:3.6 分以上
BW100T:4.3 分以上
BW120T:3.6 分以上
・ バックアップ出力コンセントは 4 口を装備、「電源」ボタンで一括ON／OFFします。
・ バックアップ時の出力電圧波形は正弦波出力です。
・ バッテリには長寿命タイプの小形シール鉛バッテリ（周囲温度25℃における期待寿命は約5年）を採用しています。
バッテリ自動テスト機能によりバッテリの劣化を判定しバッテリの交換を LCD 表示とブザーにてお知らせします。
・ 通信インターフェースは、USB（RJ45 コネクタ）／接点信号入出力を装備しています。
（同時使用はできません。）
・ 設置は、縦置方向／横置方向での使用が可能です。
・ ユーザーでのバッテリ交換が可能です。
・ 製品に添付している USB ケーブルを用いて本機とパソコンを接続し、無償ダウンロードの自動シャットダウンソフトと組み合わせてご使用いただけると、自動待避処理に加え、以下の動作も実現できます。
(1) UPS本体の機能設定
(2) スケジュール運転（自動起動・自動停止）
(3) WWW ブラウザソフトを使用してのローカル管理／リモート管理
(4) 本機の動作状態を監視・表示・記録
(5) 複数台のパソコンのシャットダウン
(6) 複数台の本機の管理

・ オプション（別売品）

1.交換用バッテリ	型式名： BWB55T（BW40T/BW55T 用）
	型式名： BWB120T（BW100T/BW120T 用）
2.取付金具	型式名： BWP55T（BW40T/BW55T 用）
	型式名： BWP120T（BW100T/BW120T 用）
3.接点信号ケーブル	型式名： BUC31

4. 動作の概要

1) 通常時は商用電源入力をそのまま交流出力として供給します。
2) バッテリは充電回路により電源ボタンの ON/OFF にかかわらず常時充電されます。
3) 電源ボタン ON により電源出力を開始し、OFF により出力を停止します。
4) 停電あるいは入力電源異常時はバッテリからの給電によるインバータ運転に切り替えて正弦波交流出力を供給します。
5) 停電、入力電源異常によるインバータ運転で放電し電圧の低下したバッテリは商用電源回復後に自動充電され、次回の停電に備えます。
6) バッテリの完全放電あるいは自動シャットダウンで運転を停止した場合、商用電源回復後に本製品は自動的に起動し電源を供給します。
7) 内部回路故障時には、LCD およびブザーにて警報します。
8) バッテリ自動テスト機能により、バッテリの劣化を判定し、バッテリの交換を LCD 表示とブザーにて警報します。（LCD 画面を用いて、バッテリ自動テストを実施しないように設定可能です。）
9) バックアップ運転時のブザー警報音を出さないように、LCD 画面を用いて設定することができます。

5. 仕 様

5-1. 方式

項 目	仕様・機能	規格／備考
運転方式	常時商用給電方式	
冷却方式	自然空冷	

5-2. 交流入力

項 目	仕様・機能	規格／備考
定格入力電圧	AC100V	
入力電圧範囲	AC86±3～114V±3V（工場出荷時） ※1 AC95±3～108V±3V ※2	
入力最大電流	BW40T:5A BW55T:6A BW100T:11A BW120T:12A	定格負荷、最大充電電流、最小入力電圧時
周波数	50/60Hz±4Hz	
相数	単相 2 線（アース付）	
入力保護	リセットタイプ過電流保護器	BW40T/BW55T:10A BW100T/BW120T:15A
AC 入力プラグ形状	接地形2P 差込みプラグ(NEMA-15P)	
AC 入力コード	接地形2P AC プラグコード本体に直接接続	約 1.8m

※1 電圧標準感度設定時

※2 電圧高感度設定時

5-3. 交流出力

項 目		仕様・機能	規格／備考
容量	出力定格容量（VA / W）	BW40T:400VA/250W BW55T:550VA/340W BW100T:1000VA / 610W BW120T:1200VA/730W	VA/W ともに左記上限値を超えないこと。
電圧	商用運転時	入力電圧スルー出力	
	バックアップ運転時	AC100V±5%	
周波数	商用運転時	入力電圧スルー出力	
	バックアップ運転時	50/60Hz±0.1Hz	
波形	商用運転時	正弦波	
	バックアップ運転時	正弦波	
相数		単相 2 線（アース付）	
過負荷保護		（商用運転時） 接続負荷容量 110%：1 分後に出力停止 接続負荷容量 125%：10 秒後に出力停止 （バックアップ運転時） 接続負荷容量 120%：20 秒後に出力停止 接続負荷容量 135%：1 秒後に出力停止	
出力コンセント		NEMA 5-15R X 4 個	

5-4. バッテリ

項 目	仕様・機能	規格／備考
種類	小型シール鉛バッテリ	
電圧／容量×個数	BW40T/BW55T:12V /8.5Ah X 1 個 BW100T/BW120T:12V/8.5Ah X 2 個	
バックアップ時間	BW40T:5.4 分以上 BW55T:3.6 分以上 BW100T:4.3 分以上 BW120T:3.6 分以上	使用環境温度 25℃、初期特性、 定格負荷の場合
充電時間	12 時間	
バッテリ交換	BW40T/BW55T:本体底面より交換可能 BW100T/BW120T:本体前面より交換可能	交換用バッテリ：別売 型式：BWB55T （BW40T/BW55 用） 型式：BWB120T （BW100T/BW120T 用）

5-5. インターフェース

項 目		仕様・機能	規格／備考
表示	状態表示	7セグメント,3 桁表示	詳細は、8 項を参照
	バッテリ劣化表示	LCD 赤色アイコン表示	
ブザー	連続鳴動 鳴動　1回/4 秒 鳴動　1回/2 秒 鳴動　1回/1 秒 鳴動　1回/0.5 秒	表示器との組合せにより、下記の状態を音で表現 1）故障 2）オーバーロードにより停止 3）オーバーロード中 4）バッテリロー 5）バッテリ劣化 6）バックアップ中	詳細は、8 項を参照
通信	方式	USB／接点（RJ45 コネクタ）	USB ケーブル付属 接点用ケーブル別売 型式：BUC31 （同時使用は不可）

5-6. ボタン

項 目		仕様・機能	規格／備考
電源ボタン	位置	前面パネル	
	種類	ON/OFF 押しボタン方式（タクトスイッチ）	
	機能	・電源出力開始 ・電源出力停止	
ブザー停止／決定ボタン	位置	前面パネル	
	種類	押しボタン方式（タクトスイッチ）	
	機能	・ブザーの一時停止 ・項目の決定	
選択ボタン	位置	前面パネル	
	種類	押しボタン方式（タクトスイッチ）	
	機能	・項目の選択 ・設定値の変更	

5-7. 環境

項 目	仕様・機能	規格／備考
使用環境温度	0℃～40℃	
使用環境湿度	25%～85%RH（無結露）	
保管温度	-15℃～40℃	バッテリ満充電
保管湿度	10%～90%RH（無結露）	バッテリ満充電
保管可能期間	25℃以下 ： 6ヶ月以内 40℃以下 ： 2ヶ月以内	バッテリ満充電

5-8. 規格

項 目	仕様・機能	規格／備考
安全規格 雑音端子電圧・放射妨害電界強度	UL1778 VCCI クラス B	

5-9. その他

項 目	仕様・機能	規格／備考
内部消費電力（通常時／最大時）	BW40T/BW55T: 10W／20W（無負荷時） 15W／25W（定格負荷時） BW100T/BW120T: 15W／35W（無負荷時） 30W／45W（定格負荷時）	
騒音	40dB 以下	
外形寸法 [mm]	BW40T/BW55T: 幅 90×奥行 291×高さ 165 BW100T/BW120T: 幅 85×奥行 342×高さ 235	ゴム足高さ含まず （貼付時の高さ） +1.0mm
質量	BW40T/BW55T:約 4.5Kg BW100T/BW120T:7.9Kg	
バッテリ寿命	期待寿命 5 年（周囲温度 25℃） 期待寿命 3.5 年（周囲温度 30℃） 期待寿命 1.7 年（周囲温度 40℃）	

5-10. 梱包仕様

項 目	仕様・機能	規格／備考
梱包箱外形寸法 [mm]	BW40T/BW55T: 幅 190×奥行 378×高さ 274 BW100T/BW120T: 幅 191×奥行 446×高さ 324	公差±5mm
梱包質量	BW40T/BW55T:約 5.0Kg BW100T/BW120T:8.9Kg	

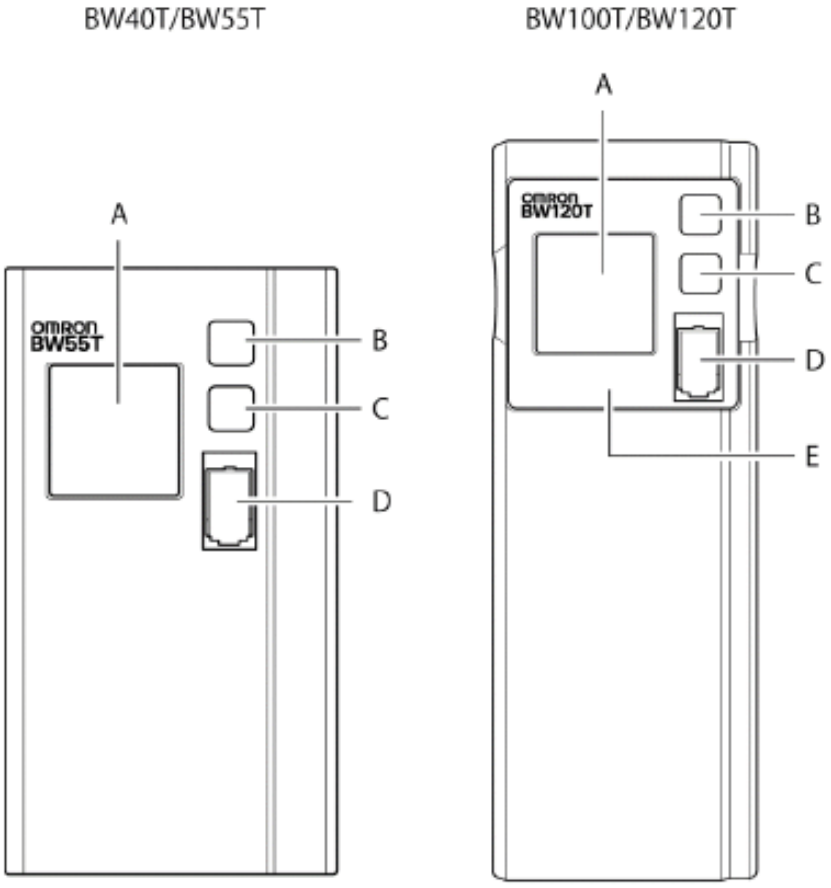
5-11. 付属品

使用上の注意事項	1 枚
保証書	1 枚
ご愛用者登録カード	1 枚
ご愛用者登録のご案内	1 枚
3P-2P 変換プラグ	1 個
動作状態の見方ラベル	1 枚
操作パネル英文版ラベル	1 枚
バッテリ交換日ラベル	1 枚
接続ケーブル（USB）	1 本
横置き用ゴム足	4 個 1 組
シリアルラベル	4 個 1 組
UPS リプレイスサービス案内チラシ	1 枚
シャットダウンソフトのご利用にあたって	1 枚

本機を UL 規格適合品としてご使用される場合は、3P-2P 変換プラグは使用しないでください。

6. 各部の名称

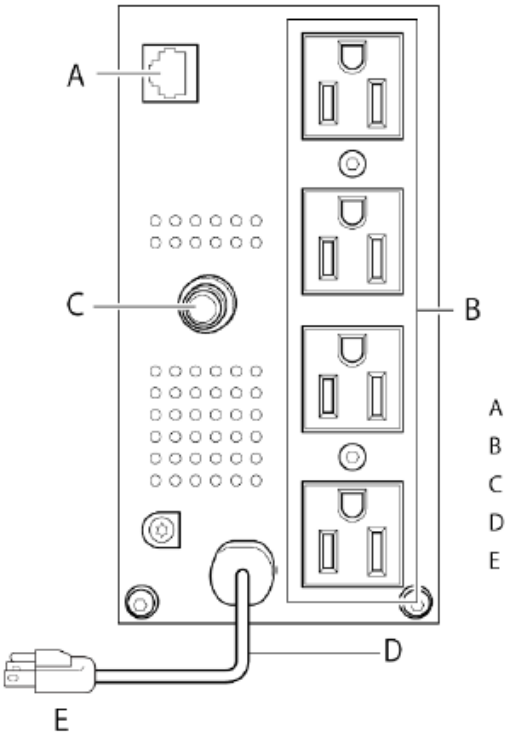
■前面



A：ディスプレイ
B：「ブザー停止 / 決定」ボタン
C：「選択」ボタン
D：「電源」ボタン
E：操作表示部（BW100T/BW120T のみ）

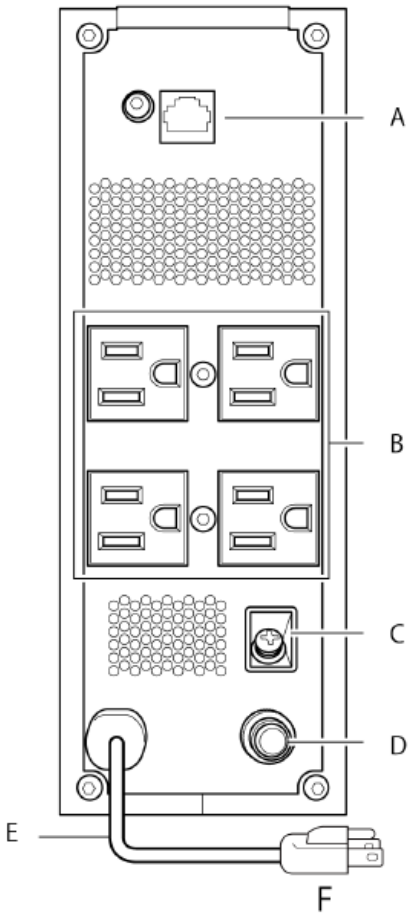
■背面

BW40T/BW55T



A：USB/ 接点ポート
B：電源出力コンセント
C：AC 入力過電流保護スイッチ
D：AC 電源コード
E：「AC 入力」プラグ

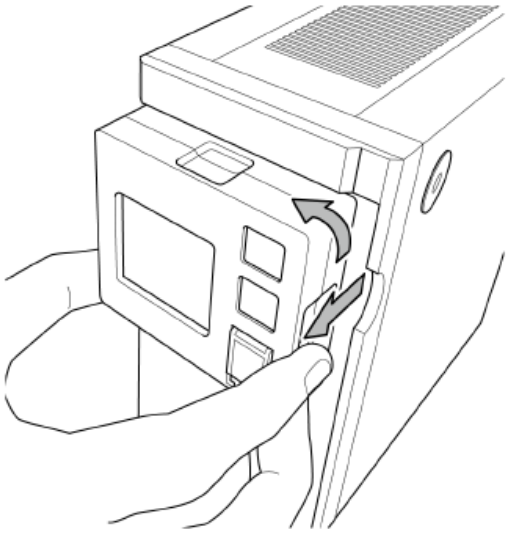
BW100T/BW120T



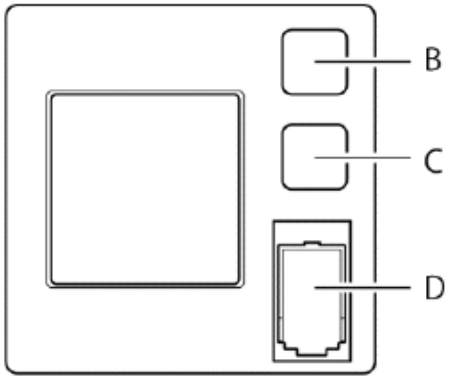
A：USB/ 接点ポート
B：電源出力コンセント
C：接地用端子
D：AC 入力過電流保護スイッチ
E：AC 電源コード
F：「AC 入力」プラグ

●フロントパネル操作表示部の回転（BW100T/BW120T）

本体の縦置き、横置きに合わせて、操作表示部を 90° 回転することができます。
操作表示部を手前に引き出して回転させ、押し込みます。
※90° 以上回転させないでください。コードが損傷することがあります。



ボタンの機能



B：「ブザー停止 / 決定」ボタン
　ブザーを停止します。長押しで変更した設定値を確定します。
C：「選択」ボタン
　設定項目を選択します。長押しで設定値を変更します。
D：「電源」ボタン
　長押しで電源を ON/OFF します。

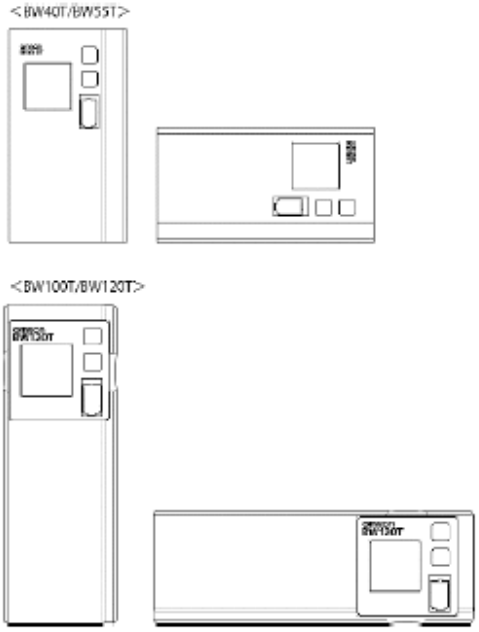
※「ブザー停止 / 決定」ボタンと「選択」ボタンを同時に押すと
　通常画面と設定画面の切り替えが可能です。

7. 設置方法

本機を設置します。
下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。

お願い
当社へお問い合わせいただく際、製品シリアル番号が必要となります。 製品シリアル番号は本体天面の記載内容か、付属品のシリアルラベルでご確認ください。

正しい設置方向



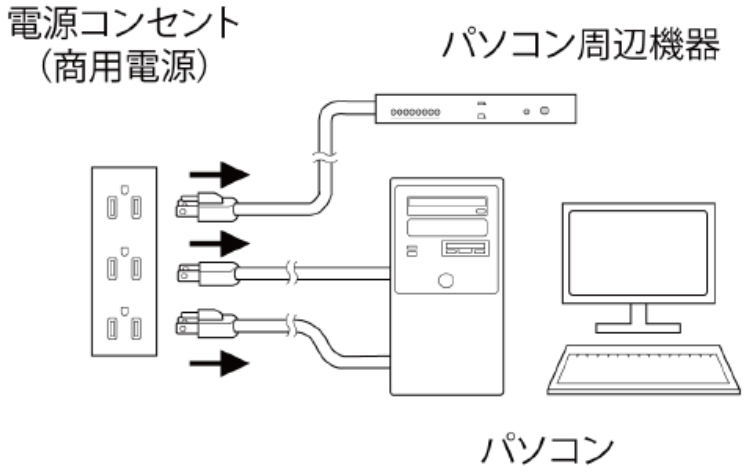
指など挟みこまないよう十分気をつけること

※付属の横置き用ゴム足を底面になる面の４隅に貼り付けてください。

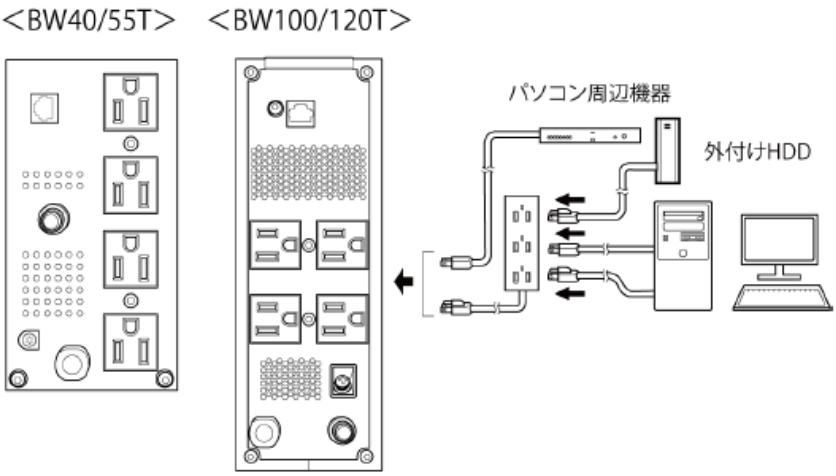
8. 機器の接続方法

8-1「電源出力」への機器の接続

1. パソコン、周辺機器などバックアップする機器の「AC 入力」プラグをすべて、電源コンセント（商用電源）から抜きます。



2. バックアップが必要な機器を本機の「電源出力」コンセントに接続します。
※本機の出力コンセントが不足の場合はテーブルタップなどを別途ご購入のうえ、出力コンセントに増設してください。



・接続機器の入力プラグ形状が 2P の場合でもそのまま本機の「電源出力」コンセントに接続できます[注1)]。
（注 1）UL 規格適合品として使用する場合は、この接続はできません。

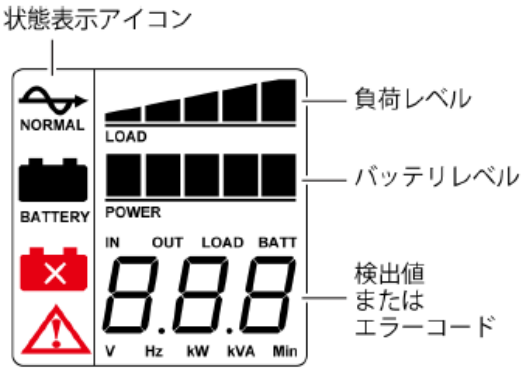
3. 無償ダウンロードの自動シャットダウンソフト、Windows の標準 UPS サービスを使用される場合、本機とパソコンを接続ケーブルで接続します。

参照 「14. 自動シャットダウンソフトを使用する」（P.45）
※自動シャットダウンソフトを使用されない場合はこの操作は不要です。

8-2　動作の確認をする

本機にバックアップする機器を接続したら下記手順にてバックアップ運転が正常に行われることを確認します。
この動作確認は「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜くことで、停電が発生した場合を模擬したものです。

●ディスプレイの見方



※この画面は説明のため、すべて点灯状態になっています。
　ディスプレイが消灯した場合は、ボタンを押すと再び点灯します。

1. **本機の「電源」ボタンを 3 秒以上押します。**

約 10 秒間バックアップ運転になり自己診断テストを開始します。

自己診断中は「検出値」に"FU"と表示されます。状態表示アイコンは下記の表示になります。

自己診断テストが正常に終了すれば商用電源からの AC 出力に切り替わります。

※バッテリ電圧が低い時は自己診断テストを実施せず、ただちに商用電源からの出力で運転開始します。

状態表示	説明
	電源 ON 正常動作中

2. 接続されている機器をすべて動作状態にします（パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む）。

※接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。
本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を満充電してからお使いいただくことをお勧めします。

3. **この状態で本機の状態表示を確認します。**

状態表示	
電源出力コンセント	電源出力する（接続機器通電状態）

上記の表示になる → 動作は正常です。手順 4 へ進んでください。

上記表示にならない → 異常です。「9 -2 ブザー音・表示の見方」（P.22）のいずれかの表示になります。
対処方法に従って処置を行ってから手順 4 に進みます。

4. **本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜きます。**

バックアップ運転状態になります。

5.　バックアップ運転状態で本機の状態表示を確認します。

動作は正常です。手順 6 へ進んでください。

上記の表示にならない→　異常です。一度「電源」ボタンを切ってください。

- 「9-2 ブザー・表示の見方」（P.22）の表示の場合は、対処方法に従って処置を行ってから再度、手順 1 に戻ってください。
- まったくバックアップせずに本機と接続機器が停止した場合はバッテリの充電不足が考えられます。
  本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続して 12 時間以上バッテリの充電を行ってから、再度、手順 4 に戻ってください。
- 上記 2 点を確認しても解決しない場合はオムロン電子機器カスタマサポートセンタにご相談ください。

6.　「AC 入力」プラグを、再び電源コンセント（商用電源）に接続します。

状態表示が元の状態に戻ります。

状態表示	説明
	電源 ON 正常動作中

以上で動作の確認は終了です。

以上で設置･接続はすべて完了しました。

8-3　バッテリの充電

本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続することにより自動的にバッテリの充電が開始され、最長 12 時間で充電が完了します。
※本機の電源が ON/OFF どちらの状態でも充電します。

- 本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。充電してからお使いいただくことをお勧めします。

- 次項「8-4 バックアップ時間の初期値測定」を実施しない場合は、「9. 無停電電源装置（UPS）の操作」（P.20）の操作を行ってください。

8-4　バックアップ時間の初期値測定

お客様のご使用環境での本機のバックアップ時間初期値を測定しておくと、バッテリの点検を行ったり自動シャットダウンソフトの設定値を決める際の目安になります。

「11.バックアップ時間を測定する」→（P.28）

8-5　バッテリの再充電

バックアップ時間測定後は、バッテリが完全に放電しています。使用開始前に再充電が必要です。

※充電しながら接続機器を使用することも可能ですが、充電完了するまでは停電発生時のバックアップ時間が短くなります。
この場合、充電開始直後に停電が発生すると、すぐにバックアップが停止します。

以上で運転開始前の準備がすべて完了しました。

9. 無停電電源装置(UPS)の操作

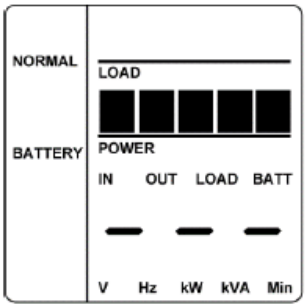
9-1. 運転・停止方法と基本的な動作

電源が OFF の状態で、商用電源に「AC 入力」プラグが接続された時

・電源出力は停止しています。
・バッテリは自動充電を開始します。

AC 入力 OFF で電源ボタン OFF の場合

AC 入力 OFF で電源ボタン OFF の場合



※状態表示アイコンは点灯しません。

運転開始方法

1. 「電源」ボタンを 3 秒以上押します。

・自己診断中は「検出値」に"FU"と表示されます。状態表示アイコンは下記の表示になります。
自己診断テストが正常に終了すれば商用電源からの AC 出力に切り替わります。

・自己診断テストを実行しなかった時は、すぐに商用電源からの AC 出力になります。

状態表示	
電源出力コンセント	電源出力する（接続機器通電状態）

・運転中は、バッテリは自動充電されます。

停電時の動作

・停電や入力電源異常が発生すると、自動的にバッテリモードに切り替わりバッテリからの電力で「電源出力」コンセントから電源出力を継続します。
・バッテリモードでは下記のアイコンが表示されます。

停電が回復した時

- バッテリモードで電源出力している間に、停電や電源異常から回復した時は、自動的に商用電源からの出力に戻ります。バッテリは充電が開始されます。
- バッテリを使い切ると本機の電源出力は停止します。その後、停電／入力電源異常が回復した時は、本機は自動的に再起動し電源出力を再開します。消費したバッテリは充電が開始されます。

参照 「設定画面」で自動再起動の有効/無効を設定できます

運転停止方法

電源 ON の状態で「電源」ボタンを 3 秒以上押します。

・電源出力は停止します。

・電源を OFF にしても商用電源から電力が供給されていれば、バッテリは自動充電されます。

ブザー音の一時停止

ブザー鳴動時に「ブザー停止/ 決定」ボタンを押すとブザーが一時停止します。

「設定画面」でブザーの有効/無効を設定できます。

9-2. ブザー音、表示の見方

○：点灯 ●：消灯 ：点滅

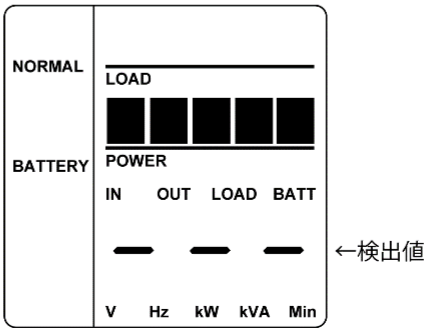
No.	状態表示	状態表示アイコン	ブザー	出力	充電	説明	対処方法
1	88	なし	なし	OFF	OFF	AC 入力なし 動作停止中	
2	---	なし	なし	OFF	ON	AC 入力あり 「電源」ボタン「切」	
3	※1		なし	ON	ON	「電源」ボタン［入］ 正常動作中	
4	FU		なし	ON	OFF 放電中	自己診断テスト中	
5	※2		断続 4 秒間隔	ON	OFF 放電中	停電あるいは AC 入力異常のため、バックアップ運転中。このままバックアップ運転を続けると出力停止。	ご使用の接続機器を終了処理した後、接続機器を停止してください。
6	bL		断続 1 秒間隔	ON	OFF 放電中	（同上） バッテリの残量が少ないのでまもなく出力停止	ご使用の接続機器を終了処理した後、接続機器を停止してください。
7	bE	なし	なし	OFF	OFF 放電中	バッテリの残量がなくなったため出力停止	バッテリを充電してください。
8	HH	なし	なし	OFF	(ON)	AC 入力異常（オーバー） 電圧が高い時：左桁のみ点滅 周波数が高い時：右桁のみ点滅 電圧・周波数共に高い時：両方点滅	仕様に記載されている AC 入力電圧・周波数の範囲にて使用してください。
9	LL	なし	なし	OFF	(ON)	AC 入力異常（アンダー） 電圧が低い時：左桁のみ点滅 周波数が低い時：右桁のみ点滅 電圧・周波数共に低い時：両方点滅	
10	OL		断続 0.5 秒間隔	ON	ON または 放電中	接続機器が多過ぎて定格容量を超えています。 この状態が一定時間以上続くと出力停止	接続機器を減らしてください。
11	E0	⚠	連続	OFF	ON または 放電中	接続容量オーバーにより出力停止	本機と接続機器の電源スイッチを全て切り、接続機器を減らした後、本機と接続機器の「電源」ボタンを入れてください。
12	ES	⚠	連続	OFF	ON または 放電中	出力が短絡したため出力停止	接続機器の AC 入力が短絡していないか、接続容量が定格容量を超えていないか、確認してください。
13	EE	⚠	連続	ON	－	動作異常または故障発生	本機と接続機器の電源スイッチを全て切り、本機の「電源」ボタンのみ再度入れてください。表示の内容が変わらない場合は、本機に異常がありますので修理をお申込みください。表示内容が変わる場合は接続機器との組合せによることが考えられます。ご不明点がある場合は電子機器カスタマサポートセンタにご連絡ください。
14	E1	⚠	連続	OFF	－	出力電圧が異常（オーバー）のため停止	
15	E2	⚠	連続	OFF	－	出力電圧が異常（アンダー）のため停止	

16	E3	⚠	ON	OFF	－	バッテリの充電電圧が異常（オーバー）のため充電停止	本機に異常が考えられますので修理をお申込みください。
17	E4	⚠	ON	OFF	－	バッテリの充電電圧が異常（アンダー）のため充電停止	
18	E6	⚠	ON	OFF	－	内部温度に異常が発生しました。	UPS の周囲温度が高くなったことが発生原因として考えられます。UPS の周囲温度を確認してください。40℃を超えている場合は、周囲温度を下げてください。本器と接続機器の電源スイッチを全て切り、本機の「電源」ボタンのみ再度入れてください。40℃以下の場合は本機の異常が考えられますので修理をお申込みください。
19	E9	なし	連続	ON	－	内部通信に異常が発生しました。	本器と接続機器の電源スイッチを全て切り、本機の「電源」ボタンのみ再度入れてください。表示内容が変わらない場合は、本機の異常が考えられますので修理をお申込みください。
20	EoB	⚠	断続 1 秒間隔	ON	OFF	バッテリ温度に異常が発生しました。	本器と接続機器の電源スイッチを全て切り、本機の「電源」ボタンのみ再度入れてください。表示内容が変わらない場合は、本機の異常が考えられますので修理をお申込みください。
21	EoU	⚠	連続	ON	OFF	UPS の製品寿命が経過しています。	UPS を交換してください。
22	On	✕	断続 2 秒間隔	ON	ON	バッテリの劣化または未接続が検出されました。（警報のみ・出力継続）	バッテリを接続する、またはバッテリを交換してください。別売の交換バッテリをお求めになればお客様で交換できます。
23	HS	▬▬▬▬▬	なし	OFF	ON	バッテリが充電不足のため待機中です。	バッテリ充電中ですので、起動するまで充電を継続してください。

※1　出力電圧が表示されます。
※2　バックアップ目安時間が表示されます。

状態表示は、「選択」ボタン（0.2 秒以上押します）で各検出値の表示と切り替えられます。
検出値は以下のように遷移します。

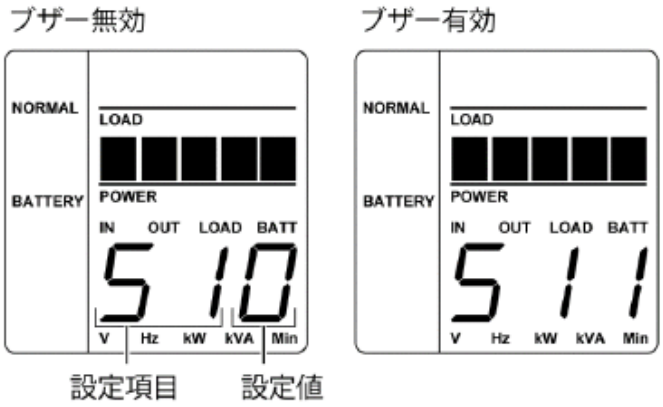
入力電圧（V）
↓
入力周波数（Hz）
↓
出力電圧（V）
↓
出力周波数（Hz）
↓
負荷（VA）
↓
負荷（W）
↓
バックアップ時間（Min）
↓
バッテリ電圧（V）



■設定画面の見方と設定方法

1. 「ブザー停止／決定」スイッチと「選択」スイッチを同時に押すと設定画面に切り替わります（ブザーが鳴ります）。
2. 「選択」スイッチを押して、設定したい設定項目を選択します。
3. 設定項目を選択し、「選択」スイッチを 2～3 秒押すと、設定項目と設定値が点灯から点滅に変わります（点滅しないときは、もう一度手順 2 から行ってください）。
4. 「選択」スイッチを押すと、設定値を変更できます。
5. 「ブザー停止／決定」スイッチを 1 秒程度押して、設定を確定します。点灯から点滅に変わります（点滅しないときは、もう一度 手順 4 から行ってください）。
6. 「ブザー停止／決定」スイッチと「選択」スイッチを同時に押して、通常画面に戻ります（ブザーが鳴ります）。

（例）ブザー設定画面



■設定項目と設定値一覧

設定項目	設定内容	設定値
S1	ブザー	0：無効 1：有効（製品出荷時設定）
S2	自動再起動	0：無効 1：有効（製品出荷時設定）
S3	自己診断テスト	0：無効 1：有効（製品出荷時設定）
S5	入力電圧感度	1.2：標準感度 （製品出荷時設定 ：1） 3：高感度
S7	コールドスタート	0：無効（製品出荷時設定） 1：有効
S8	バッテリ寿命カウンタ	0：無効 1：有効（製品出荷時設定）
S9	電源ボタンシャットダウン	0：UPS シャットダウン （製品出荷時設定） 1：UPS+PC シャットダウン
SC	再起動レベル	0～9：0%~90% 0：（製品出荷時設定）
SJ	最大バックアップ時間	0.1～9：0.1～9 分
SL	LCD 自動オフ	0：常時 ON（製品出荷時設定） 1：30 秒後 OFF 2：3 分後 OFF
C00	自己診断テスト（手動）	自己診断テストを実行します。
C01	バッテリ寿命カウンタリセット	バッテリ寿命カウンタをリセットします。

10. 無停電電源装置(UPS)の機能について

10-1. ブザー音を一時停止する

ブザー鳴動時に「ブザー停止/決定」ボタンを押すとブザーが一時停止します。

10-2. 自己診断テストの説明

このテストでは本機の故障診断、バッテリ劣化の簡易テストを行います。
下記手順にて本機内部の回路故障、バッテリ交換の要否が確認できます。

> バッテリの充電が完了していない場合は、自己診断テストはすぐに実行されません。
> 充電完了後、自動的に実施されます。

1. 本機にパソコンなどの機器を接続した後、本機の「電源」ボタンを押します。

2. 自動で自己診断テストが開始されます。
テストのためにバックアップ運転に移行します（ブザーは鳴りません）。
約 10 秒間のテストが終了すると、自動的に通常運転状態に戻ります。

3. 「状態表示」が点滅表示／バッテリ交換アイコンが点滅したり、ブザーが鳴動した場合
参照 「3-3 ブザー音・表示の見方」（P.27）の対処方法にしたがって処置を行ってください。

自己診断テストを手動で行う場合

1. 「 ブザー停止／決定」ボタンと「選択」ボタンを同時に押すとブザーが「ピー」（連続音）と鳴り設定画面になります。

2. 「 選択」ボタンを押すと、設定項目が「S11」「S21」・・・「C00」と切り変わっていきます。

3. 「C00」を選択し「選択」ボタンを長押しすると「C00」が点滅します。次に「ブザー停止/決定」ボタンを押すと自己診断テストを開始し「FU」と表示されます。

4. テストが正常に終了すると「C00」の点滅が終わり、自己診断テストが完了します。

10-3. UPS 設定ユーティリティソフトについて

UPS 設定ユーティリティは、UPS の各種設定を簡単に行うためのソフトウェアです。
（使用例）停電時、シャットダウンソフトを使用せずに UPS を停止させる。
→「最大バックアップ時間設定」で設定する。

【設定可能項目】

(1) ブザー完全停止
(2) 電圧感度モード設定
(3) コールドスタート設定
(4) 最大バックアップ時間設定
(5) 自己診断テスト自動実行
(6) 起動遅延時間設定
(7) 起動バッテリ充電容量設定

詳しくは UPS 設定ユーティリティソフトおよび UPS 設定ユーティリティソフト取扱説明書をご覧ください。
UPS 設定ユーティリティソフトおよび UPS 設定ユーティリティソフト取扱説明書は当社ホームページ (https://www.oss.omron.co.jp/ups/support/download/download.html)からダウンロードできます。

11. バックアップ時間を測定する

11-1. バックアップ時間の測定方法

1. 本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、12 時間以上充電します。

2. すべての接続機器の電源を入れます。
パソコンのサービスコンセントに接続されている機器の電源も入れます。
※接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。

3. 本機の「AC 入力」プラグを抜き、バックアップ時間を測定します。
プラグを抜いた状態で本機が自動的に停止し、表示がすべて消えるまでの時間を測定します。

> ご購入後、はじめて測定したバックアップ時間が「バックアップ時間の初期値」となります。

11-2. バックアップ時間の目安

バックアップ時間は接続機器の容量により変化します。
接続機器の総容量を計算した後、バックアップ時間のグラフを参照し、バックアップ時間初期値の目安にします（バッテリの点検をする際も同様です）。

1. 接続機器の総容量（消費電力）を、W（ワット）に統一します。
接続機器の容量はパソコン本体やディスプレイ裏面の表示で確認してください。
表示方法としては、VA（ボルト・アンペア）表示、A（アンペア）表示、W（ワット）表示の 3 種類があります。

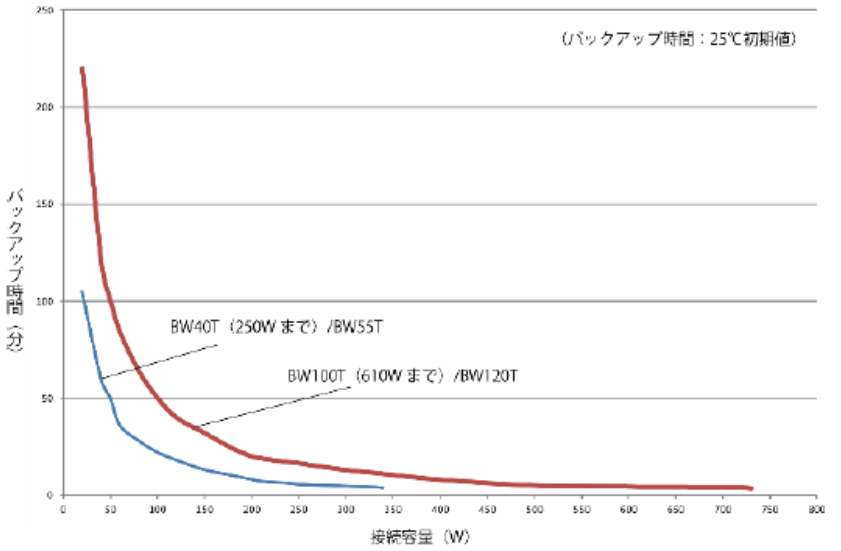
例 1）AC100V，50/60Hz，145W
例 2）AC100V，50/60Hz，1.8A
例 3）AC100V，50/60Hz，150VA

表記	値
VA	W=VA×力率
A	W=A×100V×力率

VA、A と表記されている機器の場合はWに換算してください。換算方法は機器の表記に上表の値を掛けて算出します。
力率が不明な場合は "1" とします。通常、力率は 0.6～1 の間の値です。

2. Wに換算した値を合計して、接続機器の総容量を求めます。

バックアップ時間のめやす



バックアップ時間表

負荷 / 型式	20	40	50	60	80	100	120	150	180	200	210	240	250	270	300	330	340	400	500	600	610	700	720	730
BW40T	105	60	50	36	28	22	18	13	10	8	7	6	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BW55T	105	60	50	36	28	22	18	13	10	8	7	6	5.4	5	4.5	4	3.6	-	-	-	-	-	-	-
BW100T	220	120	100	84	64	50	40	32	24	20	19	17	16.5	15	13	11.5	11	8	5	4.5	4.3	-	-	-
BW120T	220	120	100	84	64	50	40	32	24	20	19	17	16.5	15	13	11.5	11	8	5	4.5	4.3	4.2	4	3.6

※本バックアップ時間は、あくまでも参考値となります。バッテリの寿命及び外部環境（温度など）によって変わります。

※LCD 上のバックアップ目安時間表示の最大値は 99.9 分です。

12. 接点入出力機能

本機は、USB/接点ポートを接点信号入出力として使用できます。
接点信号入出力として使用する場合は、別売の接点信号ケーブル（型式：BUC31）を使用します。
※USB として使用する場合は、付属の USB ケーブルをご使用ください。

12-1. 信号入出力の種類

本機は以下の信号入力、4 種類の信号出力を持っています。
出力回路はフォトカプラを使用したオープンコレクタ回路（一種の電子スイッチ）になっています。
接点ポートのピン配置と信号名称

信号	機能
バックアップ停止信号入力（BS）	UPS の出力を停止させるための入力信号です。
バックアップ信号出力（BU）	停電中は継続して ON になります。
トラブル信号出力（TR）	本機に異常が発生したときに ON になります。
バッテリ交換信号出力（WB）	バッテリが劣化し、交換が必要なことを自己診断テストで検出したとき、またはバッテリ寿命カウンタがカウントアップしたときに ON になります。

12-2. USB/接点ポートのピン配置

●接点ポートのピン配置と信号名称

IO	信号名称	接点ポート
IO	USB D+/接点信号として使用しない	1
IO	USB D-/接点信号として使用しない	2
O	バックアップ信号出力（BU）※	3
―	COMMON（COM）	4
I	USB-Vbus/接点信号として使用しない	5
I	バックアップ停止信号入力（BS）	6
O	トラブル信号出力（TR）※	7
O	バッテリ交換信号出力（WB）※	8

※工場出荷時設定。設定ユーティリティにより、出力信号の組み合わせ変更、バッテリLOW 信号出力（BL)の割り付けが可能です。また、バックアップ停止信号（BS）による出力停止までの時間設定が可能です。設定ユーティリティは当社ホームページより無償でダウンロードしていただけます。

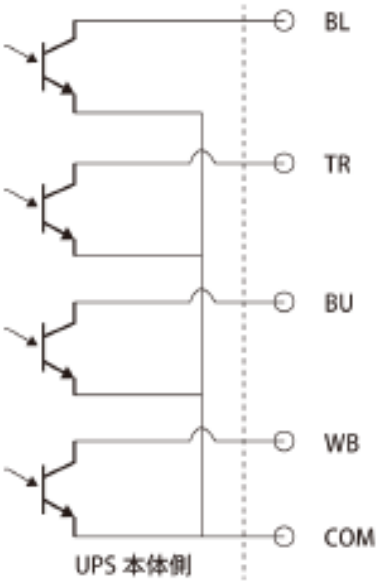
注：使用しない信号ケーブルへの処置について

誤動作防止のため、使用しない信号線に対し、被服剥ぎ部(導電部露出部)を切断する、絶縁するなど、他信号との接触防止を行ってください。

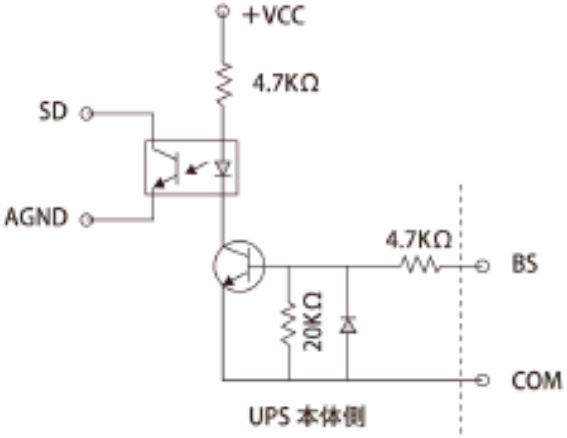
◆ 信号端子仕様 ◆

信号出力（BU/BL/TR/WB）	信号の種類	フォトカプラによる絶縁出力
	定格	電圧：35V 以下　最大電流：50mA
バックアップ停止信号入力（BS）	信号条件	入力電圧：5V～15V
	入力部回路	フォトカプラによる絶縁入力

信号出力回路（参考）



バックアップ停止信号入力回路（参考）



13. 保守・点検について

⚠ 注意（保守時）

接続機器の保守を行う場合は、必ず本機の「電源」ボタンを切り、「AC 入力」プラグを抜いた状態で行うこと。

- 本機の電源出力は、無停電電源装置（UPS）が運転状態のとき「AC 入力」プラグを抜いても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。

分解、修理、改造しないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

本機を火の中に投棄しないこと。

- 鉛バッテリを内蔵していますので、バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

無停電電源装置（UPS）の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。

- 感電する恐れがあります。

バッテリ接続コネクタに金属物を挿入しないこと。

- 感電する恐れがあります。

13-1. バッテリの点検

本機に使用しているシール鉛バッテリは寿命があります。
保存／使用環境・バックアップの頻度によって寿命は変わります。
寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。

バッテリの寿命（交換時期の目安）

周囲温度	バッテリ寿命
25℃	5 年
30℃	3.5 年
40℃	1.7 年

バッテリの点検方法

バッテリの点検方法は 2 種類あります。
・自己診断テストを行う（P.26 参照）
・バックアップ時間を測定する（P.28 参照）
バックアップ時間を測定すると、より正確にバッテリ寿命を判定することができます。

測定した値が「バックアップ時間の初期値」の半分以下になった場合はバッテリを交換してください。
※お客様で測定された「バックアップ時間の初期値」と現在のバックアップ時間を比較される場合、本機に接続する機器を初期値を測定した時と同一の容量にしないと正確に判定できません。

バッテリ点検（バックアップ時間の測定）の目安、頻度

周囲温度	6 ヶ月ごとの点検	1 ヶ月ごとの点検
25℃	購入時から 3 年まで	3 年以降
30℃	購入時から 1.5 年まで	1.5 年以降

※ バッテリは保管状態でも劣化が進行します。高温になるほど寿命は急速に短くなります。

13-2. バッテリの交換

本機が運転停止（電源出力停止）状態や、運転中（電源出力中）のどちらでもバッテリの交換ができます。

⚠ 注意
本機を UL 規格適合品としてご使用される場合は、運転（電源出力中）状態でのバッテリの交換はしないでください。運転状態でのバッテリの交換機能は UL 規格に適合していません。かならず本機の運転を停止してバッテリを交換してください。

※ 停止状態で交換される場合は、接続機器を停止し、本機の「電源」ボタンを切り、「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いてください。
※ 運転状態でのバッテリ交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。
※ バックアップ運転中にバッテリ交換をしないでください。出力が停止します。

⚠ 注意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(希硫酸)による失明ややけどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品型式： BW40T/BW55T 交換用バッテリパック：BWB55T
  BW100T/BW120T 交換用バッテリパック：BWB120T

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

- バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

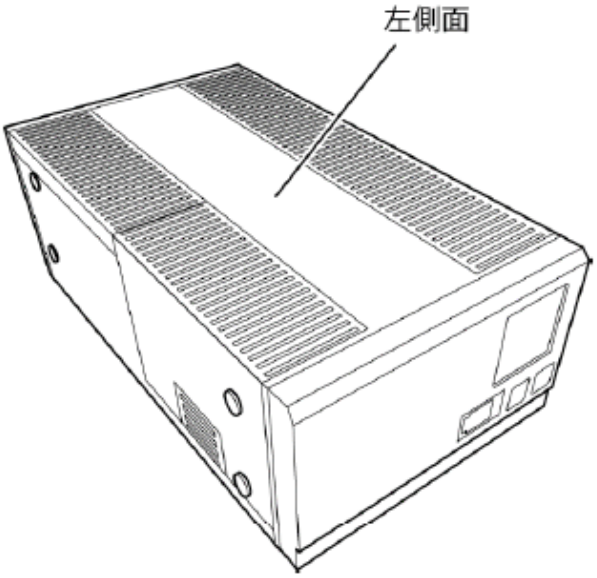
- **この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。**
  鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
  リサイクルについては、オムロン電子機器リプレイスサービスセンタへご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、当社リプレイスサービスセンタまでご送付ください。

Pb

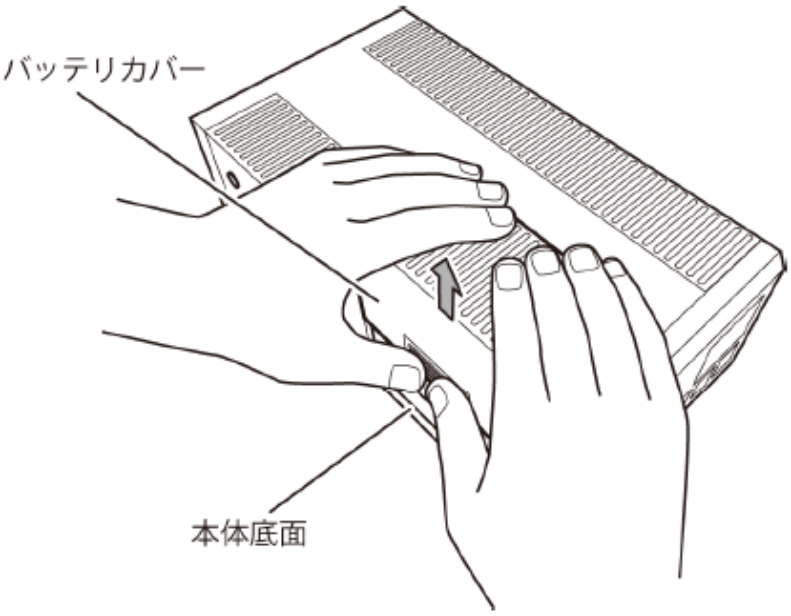
■BW40T/BW55T

※本体が滑って落下しないように、十分注意して作業してください。

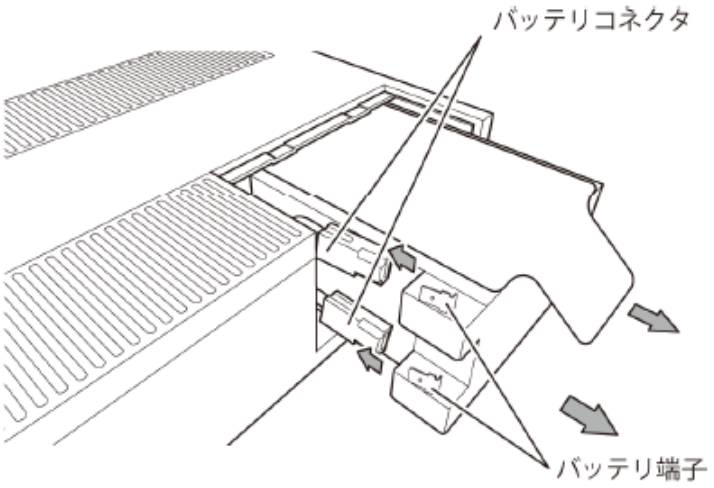
1. 本体左側面が上になるようにゆっくり倒します。



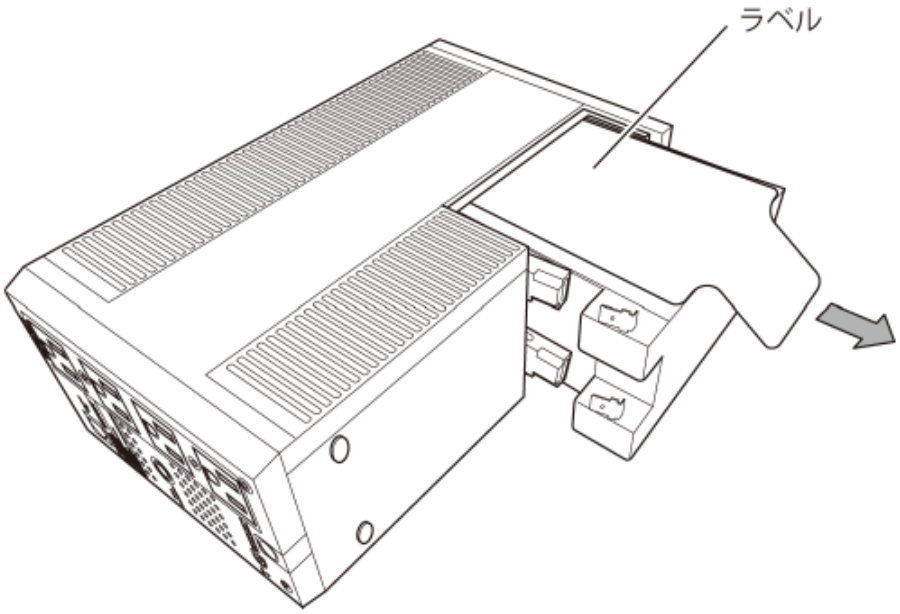
2. バッテリケースに両手を添えて、ケース下端のツメを指で軽く押しながら引き上げて取り外します。



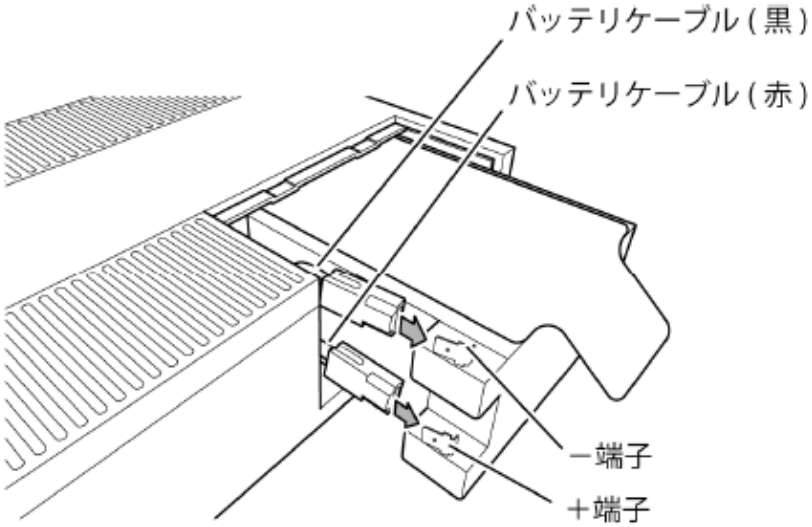
3. 右手でバッテリを持ち、左手でバッテリケーブル（赤）を掴んでバッテリから引き抜きます。
※固くて抜けにくい時は、コネクタ部分を上下に揺らしながら引き抜いてください。
続いて、バッテリケーブル（黒）を掴んでバッテリから引き抜きます。



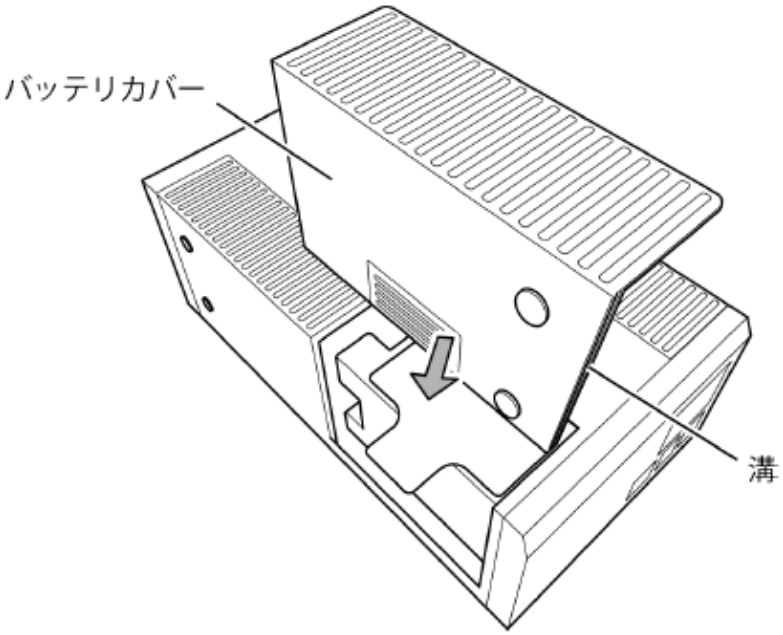
4. ラベルを持ってバッテリを取り出します。
落とさないよう注意しながら両手でバッテリを取り出します。



5. 2本のバッテリケーブルのコネクタを、カチッと止まるまで差し込みます。
右手でバッテリを持ち、左手でバッテリケーブル（赤）のコネクタを＋端子に差し込みます。
続いて、バッテリケーブル（黒）のコネクタを－端子に差し込みます。
●交換用バッテリパック
BW40T／BW55T用：型式名 BWB55T



6. バッテリカバーの溝を本体に合わせてスライドさせて取り付けます。



7. バッテリ寿命カウンタのリセットを行います。
※バッテリ寿命カウンタのリセット方法は、次のページをご参照ください。

!	バッテリ交換後は、必ずバッテリ寿命カウンタのリセットを行ってください。バッテリ寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリの期待寿命より早くバッテリ劣化アラームが発生してしまう恐れがあります。

＜「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続した状態で交換した場合＞

1. ［ブザー停止 / 決定］ボタンと［選択］ボタンを同時に押すとブザーが「ピー」（連続音）と鳴り設定画面になります。
2. ［選択］ボタンを押すと、設定項目が「S11」「S21」・・・「C00」と切り変わっていきます。「C00」を選択し［選択］ボタンを長押しすると「C00」が点滅します。次に［ブザー停止/ 決定］ボタンを押すと自己診断テストを開始し「FU」と表示されます。テストが正常に終了すると「C00」の点滅が終わります。
3. その後もう一度［選択］ボタンを押すと、「C01」に切り替わります。［選択］ボタンを長押しすると、「C01」が点滅します。
4. ［ブザー停止 / 決定］ボタンを長押しします。ブザーが「ピー」（連続音）と鳴り、バッテリ寿命カウンタがリセットされます。「C01」の点滅が終わると、リセットは完了です。
5. ［ブザー停止 / 決定］ボタンと［選択］ボタンを同時に押します。ブザーが「ピー」（連続音）と鳴り通常画面に戻ります。

＜「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いた状態で交換した場合＞

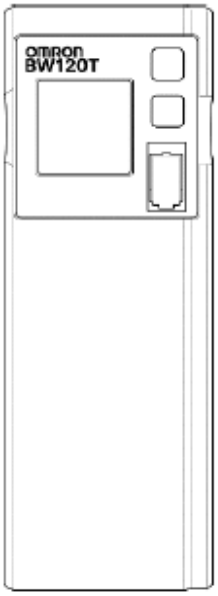
「AC 入力」プラグを電源コンセントに接続し、上記1、3、4、5の操作を行ってください。

!	交換バッテリパックに付属しているバッテリ交換日シールにバッテリ交換日を記入して見える所に貼り付けてください。

■BW100T/BW120T

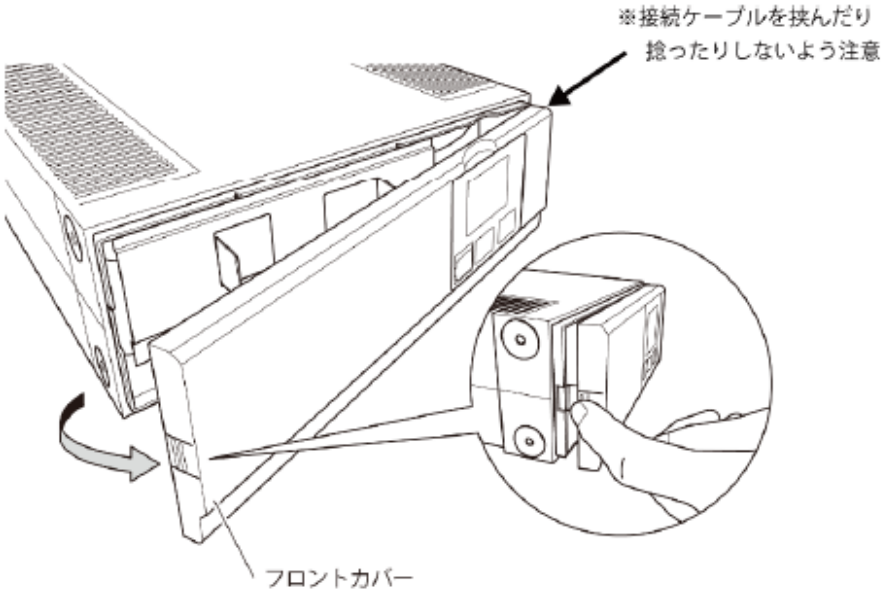
※本体が滑って落下しないように、十分注意して作業してください。

1. 本体左側面が上になるようにゆっくり倒します。



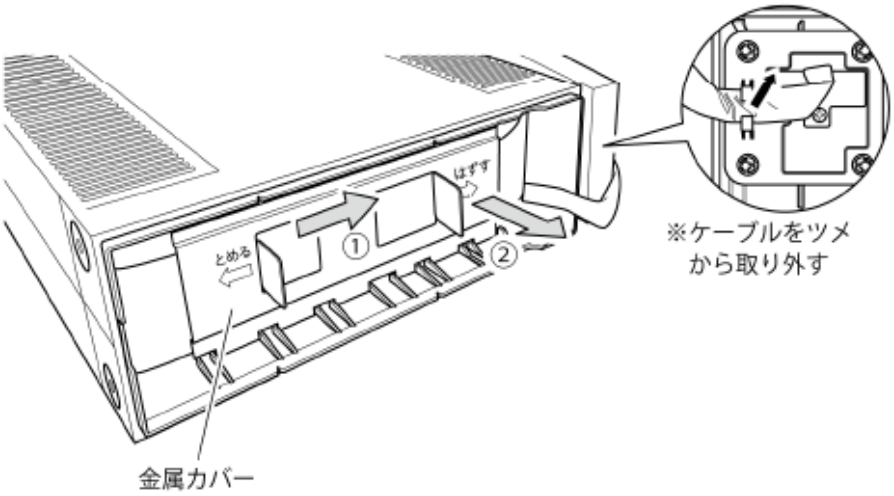
2. フロントパネル下部の爪を軽く押しながら、フロントパネルを手前に強く引いて取り外します。

※フロントパネルを外した際は、コードを捩ったり、バッテリで挟まないように注意してください。断線する恐れがあります。

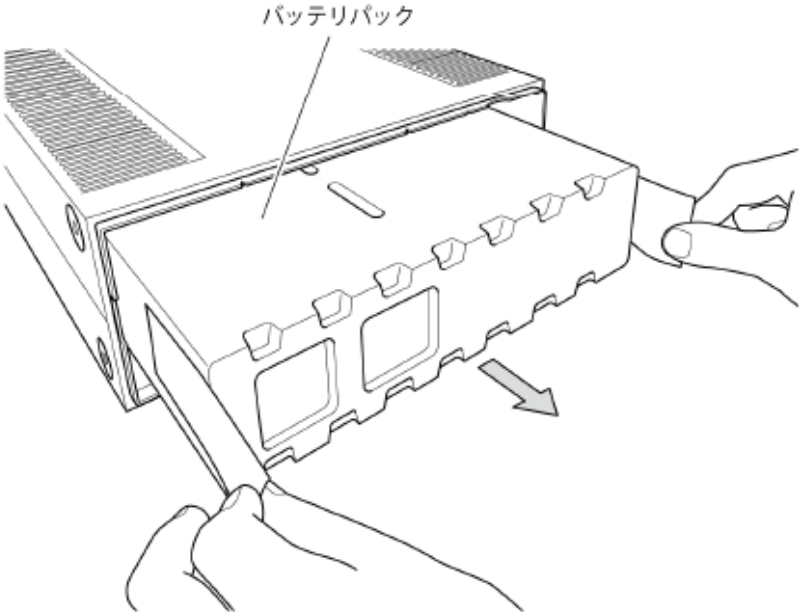


3. 金属カバーの突起部を持って右にスライドし（①）、手前に引いて外します（②）。

※フロントパネルを横に置く場合は、ケーブルをパネルのツメから取り外してください。



4. バッテリパックを両サイドにあるテープを持って引き出します。

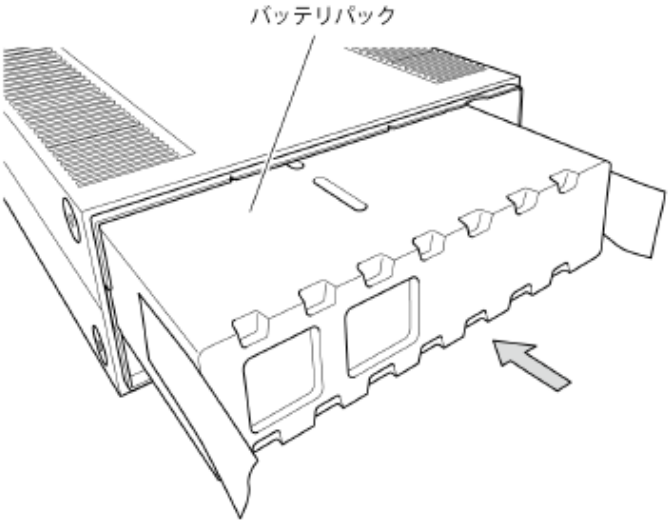


5. 新しいバッテリパックを挿入します。奥までしっかりと押し込むと、バッテリパック背面のコネクタが本体に接続されます。

●交換用バッテリパック

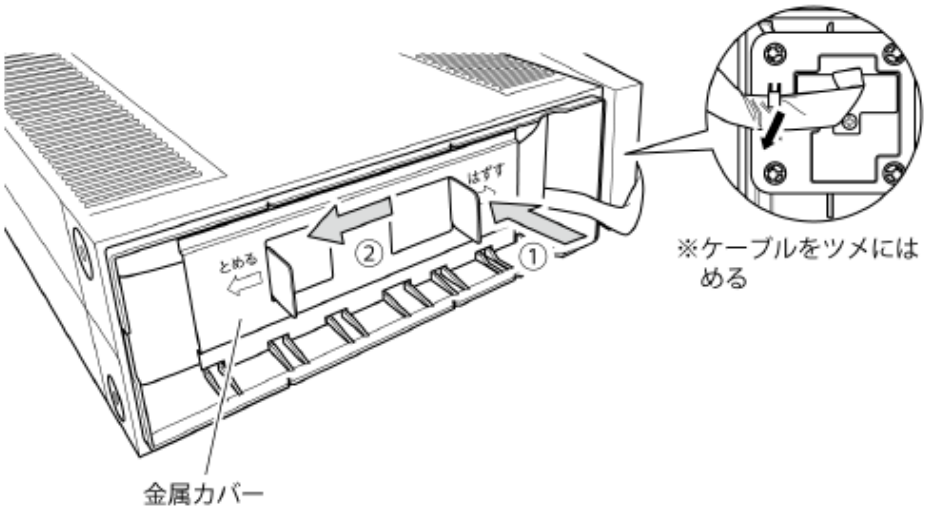
BW100T/BW120T 用：型式名 BWB120T

コネクタ接続時に"パチッ"と音がすることがありますが異常ではありません。

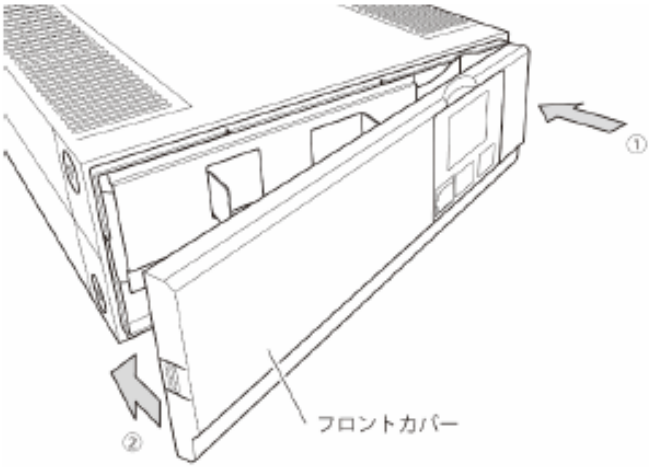


6. 金属カバーを本体にはめて（①）左にスライドさせて固定します（②）。

※ケーブルをフロントパネルのツメから取り外している場合は、ケーブルをツメにはめ込んでください。



7. フロントカバーの右側を本体にはめ（①）、左側を押し込んで本体に固定します（②）。



8. バッテリ寿命カウンタのリセットを行います。

> ❗ バッテリ交換後は、必ずバッテリ寿命カウンタのリセットを行ってください。バッテリ寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリの期待寿命より早くバッテリ劣化アラームが発生してしまう恐れがあります。

＜「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続した状態で交換した場合＞

1. ［ブザー停止 / 決定］ボタンと［選択］ボタンを同時に押すとブザーが「ピー」（連続音）と鳴り設定画面になります。
2. ［選択］ボタンを押すと、設定項目が「S11」「S21」・・・「C00」と切り変わっていきます。「C00」を選択し［選択］ボタンを長押しすると「C00」が点滅します。次に［ブザー停止/ 決定］ボタンを押すと自己診断テストを開始し「FU」と表示されます。テストが正常に終了すると「C00」の点滅が終わります。
3. その後もう一度［選択］ボタンを押すと、「C01」に切り替わります。［選択］ボタンを長押しすると、「C01」が点滅します。
4. ［ブザー停止 / 決定］ボタンを長押しします。ブザーが「ピー」（連続音）と鳴り、バッテリ寿命カウンタがリセットされます。「C01」の点滅が終わると、リセットは完了です。
5. ［ブザー停止 / 決定］ボタンと［選択］ボタンを同時に押します。ブザーが「ピー」（連続音）と鳴り通常画面に戻ります。

＜「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いた状態で交換した場合＞

「AC 入力」プラグを電源コンセントに接続し、上記１、３、４、５の操作を行ってください。

> ❗ 交換バッテリパックに付属しているバッテリ交換日シールにバッテリ交換日を記入して見える所に貼り付けてください。

13-3. 本体のお手入れ方法

1. 本機の汚れを落とす

柔らかい布に水または洗剤を含ませ固く絞り、軽く拭いてください。
シンナー、ベンジン等の薬品は使用しないでください。変形、変色の原因になります。

2. 本機の「AC 入力」プラグ、「電源出力」コンセントのほこりを取り除く

接続機器および本機をすべて停止し「AC 入力」プラグを、電源コンセント（商用電源）から抜いてください。
その後乾いた布でほこりをはらい、再度接続を行ってください。
参照 機器の接続方法は「8. 機器の接続方法」（P.15）

14. 自動シャットダウンソフトを使用する

自動シャットダウンソフトを使用する場合は、以下の接続、設定を行ってください。

14-1 自動シャットダウンソフトの概要

自動シャットダウンソフトとは UPS が入力電圧異常（停電など）を検知した時に、接続されたコンピュータに終了処理などの制御を行うためのソフトウェアです。用途に応じて必要なソフトを当社ホームページ（https://www.oss.omron.co.jp/ups/support/download/download.html）からダウンロードしてご使用ください。 OS の対応状況は、下表をご参照ください。

お願い

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転中に、手動で運転開始する場合

- スケジュール運転によって停止している状態で本機を手動起動する場合は、「電源」スイッチをいったん切ってから、再度入れてください。逆に、スケジュール運転中に本機を手動停止する場合は、「電源」スイッチを切ります。

「OS シャットダウン後 UPS を自動停止する設定」にしていて、自動シャットダウン処理実行中に復電した場合

- 停電が発生し、自動シャットダウン処理実行中に復電した場合でも、設定時間経過後に UPS の出力はいったん停止します。その場合は、復電により UPS の再起動が完了するまでは、パソコンの電源を入れないでください。

自動シャットダウンソフト対応状況

対応 OS	通信方式	シャットダウンソフト
Windows 10 Windows Server 2016 Windows Storage Server 2016 Windows 8.1 Windows 8 Windows Server 2012 R2 Windows Storage Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Storage Server 2012 Windows 7 Windows Vista (Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic) Windows Server 2008 R2 Windows Storage Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Storage Server 2008	シリアル (USB1.1)	PowerAttendant Lite
		PowerAct Pro
		Simple Shutdown Software*2
Windows Server2003 Windows Server2003 x64 Editions Windows XP Windows XP Professional x64 Edition	シリアル (USB1.1)	PowerAct Pro
		Simple Shutdown Software
Linux Cent OS Ver.7.x/Ver.6.x/Ver.5.x Red Hat Linux Ver.7.x/Ver.6.x/Ver.5.x Asianux Server 3	シリアル (USB1.1)	PowerAct Pro*1
		Simple Shutdown Software*1*4
macOS 10.12 Mac OS X v10.11/v10.10/v10.9/v10.8/v10.7/v10.6/v10.5 Mac OS X Server v10.11/v10.10/v10.9/v10.8/v10.7/v10.6/v10.5	シリアル (USB1.1)	PowerAttendant Lite
	シリアル (USB1.1)	PowerAct Pro*3

*1　ファイルの自動保存はできません。

*2　Windows Storage Server 2008 R2/Windows Storage Server 2008 には対応していません。

*3　PowerPC 版には対応していません。Ver.4.7 で macOS 10.12/Mac OS X 10.11 および Mac OS X Server v10.11 をご利用になられる場合は、OS への設定が必要になります。詳しくはホームページをご覧ください。

*4　Cent OS Ver.6.x、Red Hat Linux Ver.5.x、Asianux Server 3 には対応していません。

自動シャットダウンソフト機能一覧表

●標準対応　○オプション対応　▲一部制限あり

機能 ＼ ソフト名称		一般用途(単機能、スタンドアローン)	ネットワーク管理用途(高機能、ネットワーク対応)	
		Simple Shutdown Software	PowerAct Pro	PowerAttendantLite
ソフト機能	自動シャットダウン	●	●	●
	UPS モニタリング(動作状態)	―	●	●
	UPS モニタリング(データ)	―	●	●
	ポップアップ通知	―	●	●
	OS を休止状態で終了*	―	●	●
	自動ファイル保存*	―	●	―
	スケジュール運転	―	●	●
	UPS の設定変更	―	●	●
	外部コマンド実行	●	●	●
	イベントログ保存	―	●	●
	データログ保存	―	●	●
	連携シャットダウン	―	●	●
	冗長電源対応	―	●	―
	リモートでの UPS 管理	―	●	●
	メール送信	―	●	―
	Telnet 接続	―	●	●
	SYSLOG 対応	―	●	―

* この機能は Windows のみ使用可能です。Mac、Linux では使用できません。

シャットダウンソフトでは、以下の機能が使用できます。

自動シャットダウン	電源異常発生時、パソコンを自動シャットダウンできます。
UPS モニタリング(動作状態)	UPS の動作状態（商用運転中/バックアップ運転中）をモニタリングできます。
UPS モニタリング(データ)	入出力電圧値、接続容量、バッテリ容量などのでデータをモニタリングできます。
ポップアップ通知	停電などの異常発生時、ポップアップウインドウで異常内容を通知します。
OS を休止状態で終了	パソコンを休止状態で終了できます。休止状態では終了時の作業状態を保持するため、作業内容が失われません。
自動ファイル保存	シャットダウン時に作業中のワード、エクセルなどのファイルを自動保存します。
スケジュール運転	UPS の停止/起動をスケジュール設定できます。
UPS の設定変更	UPS の設定（ブザーON/OFF 設定など）を変更することができます。設定可能項目は UPS により異なります。
外部コマンド実行	シャットダウン時に、コマンドを実行することで、アプリケーションプログラム等を起動させることができます。
イベントログ保存	UPS で発生したイベント情報(電源異常、設定変更、故障発生など)をログ保存します。
データログ保存	入出力電圧値、接続容量などのデータを一定間隔（設定可能）でログ保存します。
連携シャットダウン	電源異常発生時、UPS に接続された複数台のパソコンを連携して自動シャットダウンできます。
冗長電源対応	冗長電源を搭載したパソコンに 2 台以上の UPS を接続することができます。電源異常が片方のみの時はシャットダウンを行わず、両方の UPS で電源異常が発生した時のみシャットダウンさせるので、システムの稼働率が向上します。
リモートでの UPS 管理	ネットワーク上のパソコンからリモートで UPS を管理することができます。
メール送信	停電などの異常発生時、システム管理者にメールで異常内容を通知します。
Telnet 接続	Telnet 接続でシャットダウンパラメータなどの設定を行います。
SYSLOG 対応	UPS の管理情報を SYSLOG で記録します。

14-2 自動シャットダウンソフトの使い方

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」を使用すると、停電時に自動的にパソコンの終了処理ができます。ネットワーク上の複数台のパソコンの終了処理が可能です。またスケジュール設定によるバックアップ運転の自動起動、停止などもできます。

参考

停電発生からパソコンの終了までの時間は「11. バックアップ時間の測定方法」（P.28）で測定したバックアップ時間内に完了するようにしてください。

詳細は本ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

Simple Shutdown Software

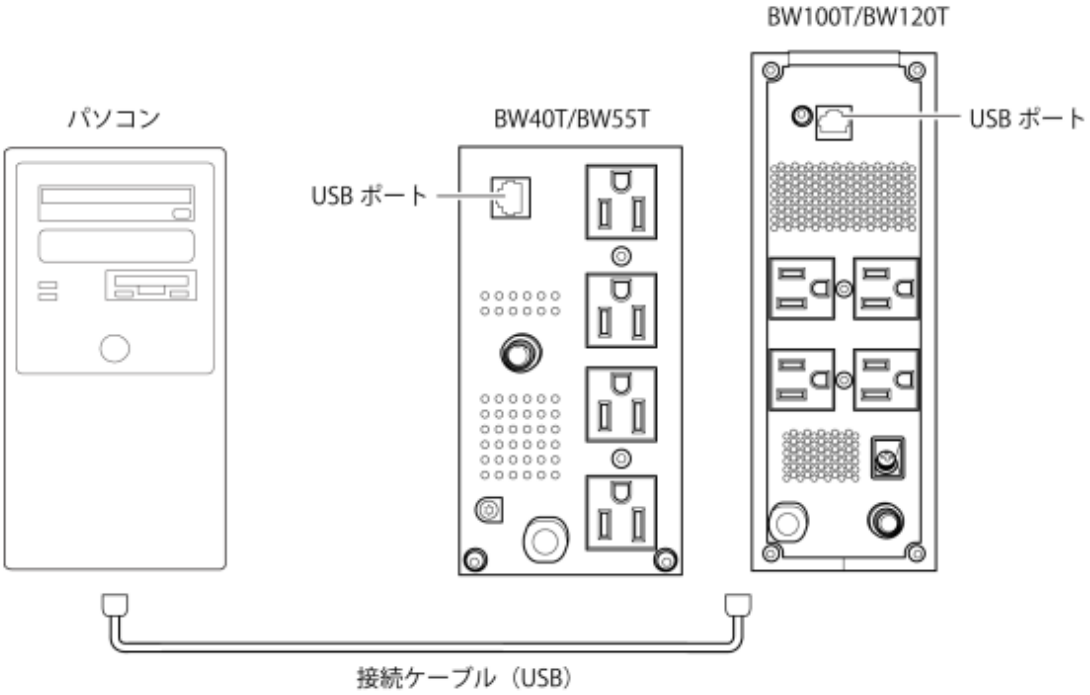
「Simple Shutdown Software」を使用すると、停電時にパソコンの終了処理ができます。
詳細は本ソフトウェア内のマニュアルをご確認ください。
本ソフトウェアのマニュアルは当社ホームページ
（https://www.oss.omron.co.jp/ups/support/download/download.html）からダウンロードできます。

PowerAttendantLite について

「PowerAttendantLite」を使用すると、停電時に自動的にコンピュータの終了処理を行うことができます。
またスケジュール設定によるバックアップ運転の自動起動、停止などもできます。
詳細は、本ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。
本ソフトウェアのマニュアルは当社ホームページ
（https://www.oss.omron.co.jp/ups/support/download/download.html）からダウンロードできます。

1. **無停電電源装置（UPS）とパソコンを接続します。**

使用ケーブル：付属の接続ケーブル（USB）



2. **シャットダウンするパソコンに「PowerAct Pro」、「Simple Shutdown Software」または「PowerAttendantLite」をインストールします。**

インストール方法: 本ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

本ソフトウェアのマニュアルは当社ホームページ（https://www.oss.omron.co.jp/ups/support/download/download.html）からダウンロードできます。

自動シャットダウンソフトの設定

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

本機を停止すると同時にブレーカーなどを使用して商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を 3 ヶ月以内に設定してください。

3 ヶ月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。

またバッテリが寿命になると約半分になります。

3 ヶ月を超えた場合、商用電源を供給し「電源」ボタンを押すことで運転を開始します。

しかし、バッテリが寿命となった場合、運転を開始できないことがあります。この場合は、「13-2 バッテリの交換」（P.34）に従いバッテリ交換を行ってください。

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転時の運転開始について

スケジュール運転によって本機が停止している状態で本機を手動で起動する場合には、「電源」ボタンをいったん OFF して、再度 ON してください。

また運転中の本機を停止する場合は「電源」ボタンを OFF することにより、停止します。

自動シャットダウンソフトによる OS 終了処理後の自動再起動について

特定のパソコン（*1）にて、停電時に自動シャットダウンによる OS の終了処理完了直後にパソコンが自動的に再起動する現象が発生します。
この場合、パソコンの再起動中または起動後に本機が停止し、ファイルやハードディスクを破壊する恐れがあります。
この現象は、パソコンの BIOS 設定内の POWER MANAGEMENT を Disable（無効）にすることにより回避できます。
*1）特定のパソコン：MICRON 製 Millennia Mme にてこの現象が確認されています。

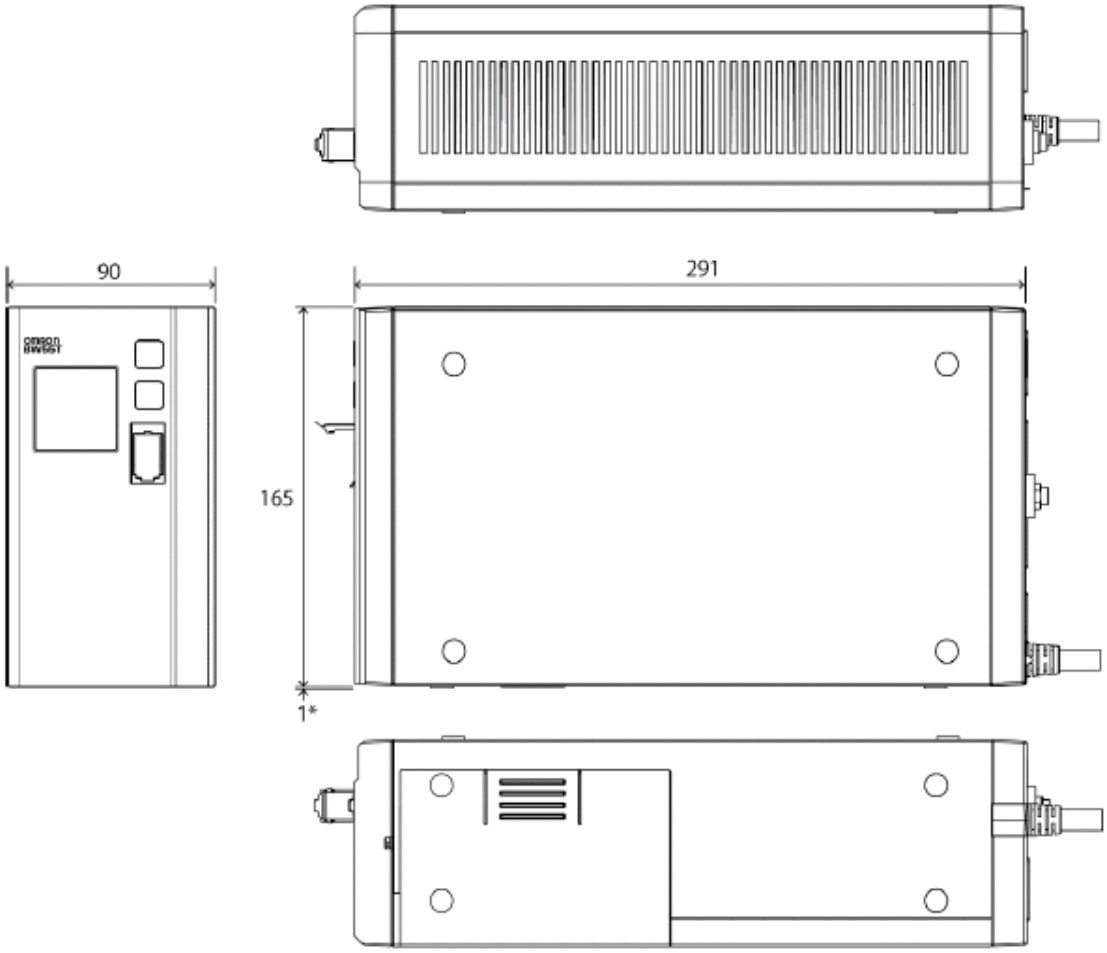
OS シャットダウン後、"UPS を自動停止させる設定"にしている場合の注意事項

停電が発生し自動シャットダウン処理実行中に復電した場合でも、設定時間経過後に UPS の出力は一旦停止してしまいます。シャットダウン処理終了後、UPS の再起動が完了するまでパソコンの電源を入れないでください。

15. 参考資料

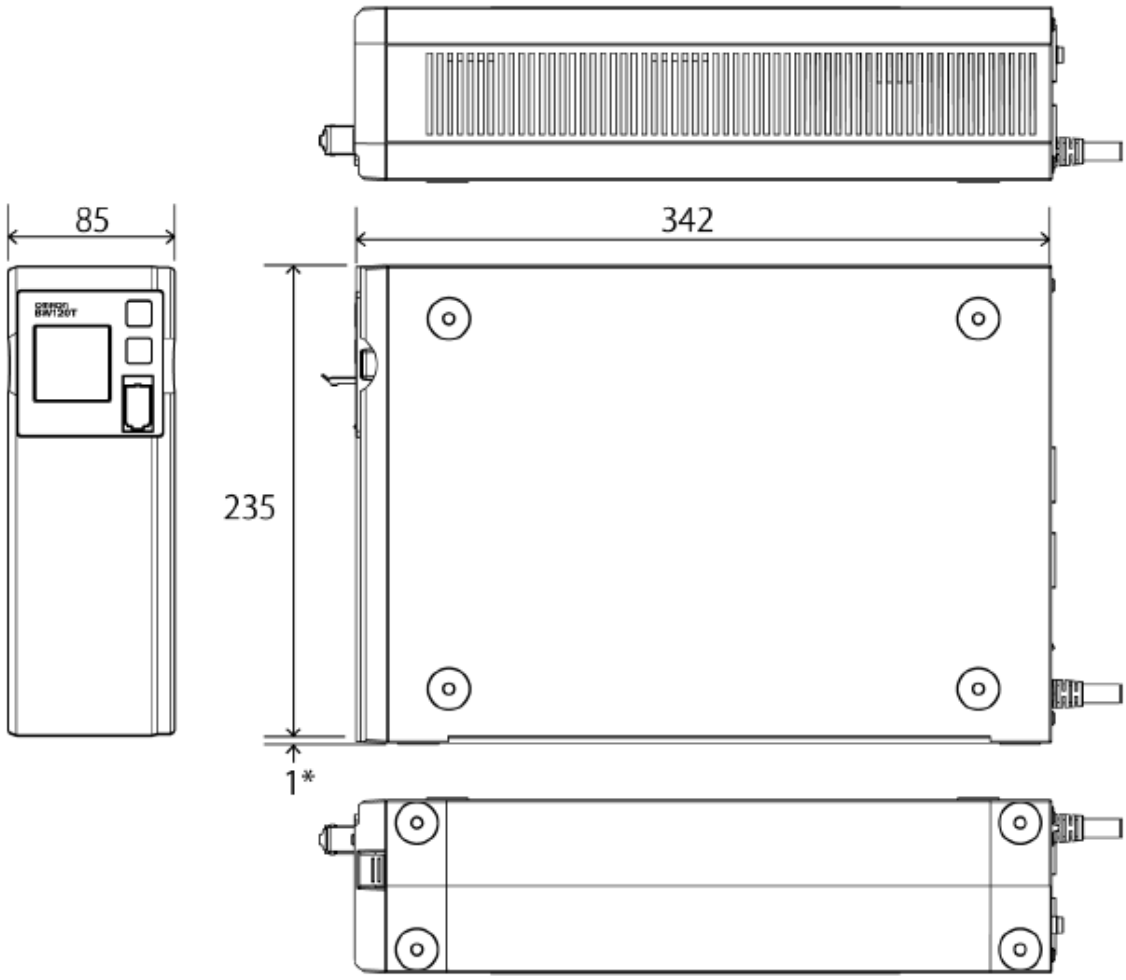
15-1 外形寸法図

＜BW40T/BW55T＞



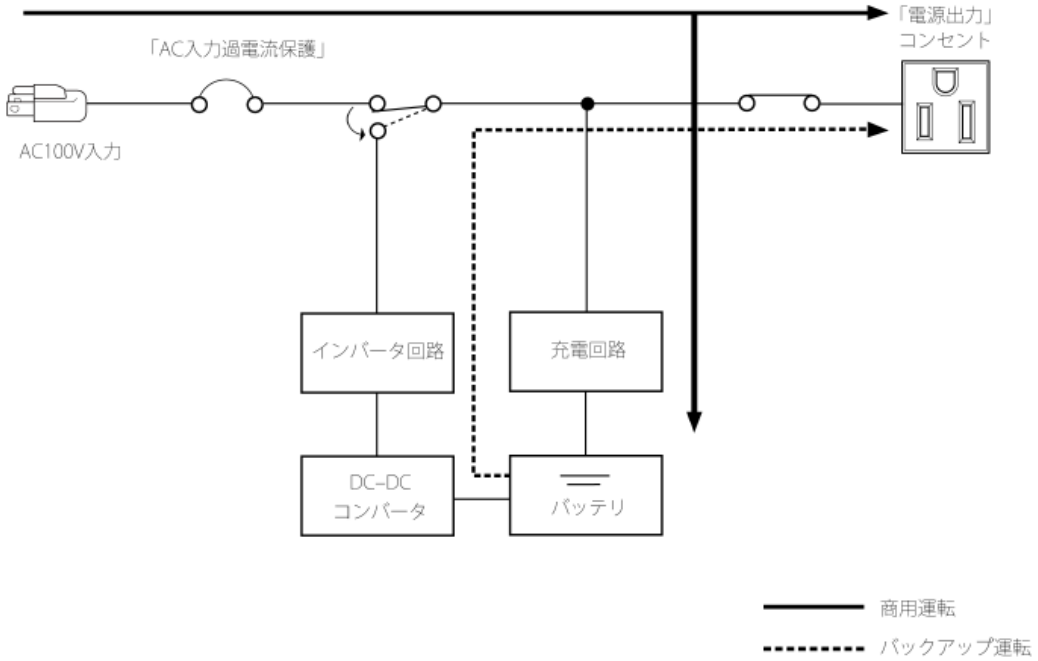
* ゴム足の厚みは 2mm ですが、本体にくぼみがあるため、高さは 1mm になります。

<BW100T/BW120T>



* ゴム足の厚みは 2mm ですが、本体にくぼみがあるため、高さは 1mm になります。

15-3 回路ブロック図



※本ブロック図は BW100TW の回路構造の概要を図示するものです。

16. 保証契約約款

はじめに

保証契約約款（以下「本約款」）は、取扱い説明書にしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず、「保証書」に記載した保証期間内において、製品（付属品等を除く）が故障した場合、本約款に明示した期間、条件の下において、「無償修理」を行うことをお約束するものです。

第１条　定義

本約款で使われる用語の定義は次の各号の通りとします。

①「保証書」とは製品名（商品名）や保証期間を予め記入した上で当社が無償修理を保証する旨を約したものをいいます。

②「製品」とは当社製品として梱包されたもので本体部分をいい、付属品等は除きます。

③「故障」とはお客様が取扱説明書、本体貼付ラベル等の記載事項に従った正常な使用状態で正常に機能しない状態をいいます。

④「無償修理」とは製品が保証期間内に故障した場合、当社が無償にて行う故障個所の修理をいいます。

⑤「有償修理」とは製品が保証期間外に故障した場合、お客様に費用を負担していただいて当社が行う故障個所の修理をいいます。

第２条　保証期間

保証期間は、購入日より製品に同梱されている保証書に記載されている期日までとします。

ただし、購入日及び販売店の署名または押印等が記載されていることを条件とします。

第３条　保証の範囲

3-1 保証の範囲は、本製品の修理、交換、または同等機能の製品との代替交換に限ります。

3-2 当社の保証範囲は前記（3－1）記載をもって全てとし、故障によってお客様に生じた損害（事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含むが、これらに限定されない）については、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても当社は一切の責任を負わないものといたします。

第４条　修理

4-1 製品に故障が生じた場合、お客様が当該製品を当社指定の修理受付窓口に送付することにより、当社が修理を行い、修理完了後にお客様の指定する場所（日本国内に限る）に発送するものとします。なお、送料は、無償及び有償修理ともお客様から送付いただく場合はお客様のご負担（元払い）となります。修理後の送料は当社にて負担いたします。

4-2 当社は、本製品の修理に代えて当社の判断にて、本製品と同機種の交換または同等機能の製品との代替交換を行うことができるものとします。

4-3 当社は本製品の修理を実施するにあたり、パーツ交換（ボード、モジュールを含む）によって修理を行うことができるものとし、交換された旧パーツは当社の新パーツはお客様所有の財産となります。なお、パーツ交換に代えて同機種または同等機能製品と交換した場合も交換対象の製品は当社の、代替製品はお客様の所有の財産となります。

第５条　保証の不適用

保証期間内であっても、以下の場合は無償修理の対象外とさせていただきます。

5-1 使用上の誤り、及び当社の事前承諾なしになされた修理、改造や付加による故障、及び損傷。

5-2 お買い上げ後の落下、取扱いの不注意などによる故障及び損傷。

5-3 火災・地震・風水害・落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、及び通常基準を超える異常な物理的もしくは電気的負荷が加えられたことによる故障及び損傷。

5-4 修理依頼の際、保証書のご提示をいただけない場合。及び以下の各号に該当する場合。

①保証書の有効期限が終了している場合。

②保証対象物件の形式・製造番号が修理を行う物件のそれと一致しない場合。

③保証書の内容を明らかに改ざんしたと思われる場合。

④保証書に、所定記入事項（お買い上げ年月日、お客様名、販売店名）の記入のない場合、あるいは字句を不当

に書き換えられた場合。

5-5 消耗部品、自然劣化により故障したもの。ただし、個別に保証契約を締結するか、または個別に保証の範囲を定めている場合はその個別の契約または定めに従うものとする。

5-6 故障の原因が本製品以外に起因する場合。

第 6 条 準拠法

本約款の解釈は日本国の法令が適用されるものとします。

第 7 条 裁判管轄

本約款に関する訴訟の第一審合意管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

第 8 条 有効範囲

本約款は、使用可能国にて発生した故障の場合のみ有効とします。

17. 安全上のご注意

安全上のご注意

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

●この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危 険（製品の用途）

本機を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しない。

※ 本機は、パソコンなどのFA、OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。

- 人命に直接関わる医療機器やシステム。
- 人身の安全に直接関連する用途。
  （例：車両・エレベータなどの運行、運転、制御など）
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。
  （例：主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など）
- 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。

注 意（設置・接続時）

重量・バランスに注意して運搬し、安定した頑丈な場所に置いて使用すること。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 本体質量：BW40T/BW55T：4.5kg
  BW100T/BW120T：7.9kg
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
  修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

● 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

本機の「AC 入力」プラグは必ず定格入力電圧（AC100V）、周波数 50/60Hz の電源コンセント（商用電源）に接続すること。

● 電圧、周波数の違う電源コンセント（商用電源）に接続すると、火災を起こすことがあります。

● 本機が故障することがあります。

異常（異音・異臭）時は本機の「電源」ボタンを切って出力を停止し、「AC 入力」プラグを電源コンセントから引き抜くこと。
「AC 入力」プラグは電源コンセントからすぐに抜ける状態で設置すること。

● 接続機器の保守時等も、安全のため上記に準じて実施してください。

ドライヤー、一部の電磁弁など、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。

● 過電流により、無停電電源装置が故障することがあります。

以下の電流容量のある電源コンセント（商用電源）に接続すること。

BW40T：5.0A 以上

BW55T：7.0A 以上

BW100T：11.0A 以上

BW120T：14.5A 以上

● 電源配線が発熱することがあります。

● 出力容量最大限の機器を接続した場合、最大で以下の電流が流れます。

BW40T：5.0A

BW55T：7.0A

BW100T：11.0A

BW120T：14.5A

アース接続（接地）を確実に実施すること。

● 電源コンセントのプラグの形状を確認の上、本機の「AC 入力」プラグをそのまま差し込んでください。
アース接続を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電することがあります。

分解、修理、改造をしないこと。

● 感電したり、火災を起こす危険があります。

指定外の方向で設置しないこと。

● 転倒や落下するとけがをすることがあります。

● 指定方向以外で設置されると、バッテリが液漏れしたときの保護ができません。

最高気温が 40℃を超える場所で使用しないこと。

● バッテリが急速に劣化します。

● 本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。

使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。
次のような場所で設置や保管をしないこと。

- 湿度が 10%よりも低い／湿度が 90%よりも高い場所に保管しないこと。
- 周囲温度が 0℃よりも低い／周囲温度が 40℃よりも高い場所で使用しないこと。
- 湿度が 25%よりも低い／湿度が 85%よりも高い場所で使用しないこと。
- 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所、直射日光が当たる場所、極端に埃の多い場所、振動や衝撃が加わる場所、屋外など。
- 火災などの原因になることがあります。

本機の出力容量を超える機器を接続しないこと。
テーブルタップ等で接続機器の増設を行なえますが、この場合はテーブルタップ等の電流容量を超える機器を接続しないこと。

- 本機がオーバーロード（過負荷）を検出し、出力を停止します。
- テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。

ケーブルをはさんだり、束ねた状態で使用しないこと。

- ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
- ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。

修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。
同梱されている全ての付属品は、本機を使用する場合に限り使用できるものです。他の機器には使用しないでください。

- 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

吸排気口は塞がないこと（天面・側面・背面）。

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリ劣化の原因となります。
- 壁から 5cm 以上離して設置してください。

変圧トランス、絶縁トランスなどを出力側に接続しないこと。

- 過電流により無停電電源装置(UPS)が故障または動作異常となることがあります。
- 入力側に接続する場合でも無停電電源装置(UPS)が故障または動作異常となることがあります。必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

商用電源にて使用できない機器は接続しないこと。

⚠ 注 意（使用時）

濡らしたり、水をかけないこと。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。
- 水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、AC 入力ケーブルを抜いて点検、修理を依頼してください。

安全上のご注意

修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。
寿命が尽きたバッテリはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

● 使用を続けると液漏れにより火災や感電の原因になることがあります。

周囲温度	期待寿命
25℃	5 年
30℃	3.5 年
40℃	1.7 年

※ 左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

「AC 入力」プラグ、電源出力コンセントのほこりは、時々乾いた布でふき取ること。

● 長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。

● ほこりをふき取る際は接続機器および本機をすべて停止し、「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜いてください。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

● 異常な発熱や火災を起こすことがあります。

● ご使用環境によっては、バッテリから水素ガスが発生する場合があり、破裂または爆発の原因となることがあります。本機周辺の換気を行ってください。

変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、すぐに本機の「電源」ボタンを切り「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜くこと。

● このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。

● このような状態になったら必ず使用を中止し、AC 入力ケーブルを抜いてお買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。

● 使用時は異常発生時にすぐに「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜ける状態にしておいてください。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

● 失明したり、やけどをする危険があります。

● 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

上にものを乗せたり、重量物を落下させないこと。

● ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。

本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤動作により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給できるバイパス出力回路を装備しています。
出力を停止したい場合は「商用電源」の供給を止めるか、「AC 入力」プラグを抜きます。

● 表示部の表示がすべて消えていても出力は継続します。

● 前面の「電源」ボタンでの出力の ON/OFF 操作はできなくなります。

⚠ 注 意（保守時）

接続機器の保守を行う場合は、必ず本機の「電源」ボタンを切り、「AC 入力」プラグを抜いた状態で行うこと。

- 本機の電源出力は、無停電電源装置（UPS）が運転状態のとき「AC 入力」プラグを抜いても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。

分解、修理、改造しないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

本機を火の中に投棄しないこと。

- 鉛バッテリを内蔵していますので、バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

無停電電源装置（UPS）の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。

- 感電する恐れがあります。

バッテリ接続コネクタの端子間をショートさせないこと。

- 感電する恐れがあります。

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品型式：交換用バッテリパック： BW40T/BW55T 用：BWB55T
  BW100T/BW120T 用：BWB120T

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

- バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

● 希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

● 感電、発火、やけどの恐れがあります。

● 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

● バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

お願い

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し（結露）、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電（12 時間以上）してください。

- ご購入後長期間使用しないと、バッテリの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- 本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し込むことでバッテリを充電できます。

本機を保管される場合は 12 時間以上充電し、電源を OFF にしてください。

- バッテリは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 長期間保管される場合は 25℃以下の環境を推奨します。

保管温度 25℃以下の場合 6 ヵ月以内、保管温度 40℃以下の場合 2 ヵ月以内に本機の「AC 入力」プラグを 12 時間以上商用電源コンセントに接続してください。

- 保管中は本機の「電源」ボタンを切ってください。

本機の出力ライン間のショート（短絡）、および出力ラインをアースにショート（地絡）しないように注意してください。

- 本機が故障することがあります。

バックアップ運転中に本機の「AC 入力」プラグを本機の「電源出力」コンセントに差し込まないでください。

- 本機が故障することがあります。

ページプリンタ（レーザプリンタなど）を本機に接続しないでください。

- ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知することがあります。

本機を自家発電装置等の電源周波数が大きく変動する機器と組み合わせて使用する場合は、必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

- 本機は入力電源が供給された時に入力電源周波数を自動認識しています。入力電源周波数が規定値でない状態で本機を接続すると、電源周波数の誤認識を起こし正常に動作しない場合があります。本機が起動している状態で商用電源から発電装置等の電源に切り替わる場合には、問題ありません。ただし、発電機の周波数は商用電源と一致させてください。

頻繁にバックアップ動作をする用途に使用しないでください。

- バッテリが劣化し、規定のバックアップ時間を維持できなくなります。

お願い

本機を直射日光の当る場所に設置あるいは保管しないでください。

- 温度上昇により内蔵バッテリが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

商用電源を切る前に、本機の電源を OFF にしてください。

- 商用電源が停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリ寿命が著しく短くなる場合があります。

本機とコイル、モータ、トランス等の誘導性の機器に使用する時は、必ず事前に確認動作を行ってからご使用ください。

- 機器の種類によっては、突入電流等の影響で本機が正常に動作しない場合があります。

本機はバッテリを接続しない状態では起動しません。

- 過放電状態や、劣化したバッテリを接続した状態でも起動しません。
  ご注意ください。

耐電圧試験をしないでください。

- 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、耐電圧試験をされるとサージ吸収素子が破壊されます。
- 絶縁抵抗試験をする場合は、DC250V レンジで実施してください。

本機を第三者に譲渡･売却する場合は、本機に添付されている書類等全てのものを本機に添付のうえ譲渡してください。本機は添付書類等記載の条件に従うものとさせて頂きます。

- 本取扱説明書には、安全に関わる内容等が記載されています。内容をご確認の上、ご使用ください。
  また、本取扱説明書を紛失された場合は、販売店までご連絡ください

- この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。
  鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
  リサイクルについては、オムロン電子機器リプレイスサービスセンタへご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、当社リプレイスサービスセンタまでご送付ください。

解 説

日常の運用方法について

- 本機の「電源」ボタンは入れたまま（運転状態）でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用してください。長期間接続機器を使用しないときは「電源」ボタンを切っておくことをお勧めします。
- 本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し込むことでバッテリを充電できます。

バックアップ運転終了について

- 停電時間が長くなるとバッテリが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了（データをセーブするなどの処置）するようにしてください。

再起動について

- 停電中にバッテリが放電してしまうと、本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、電源供給します。接続機器を動作させたくないときは、「電源」ボタン、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

参照 「設定画面」で自動再起動の有効/無効を設定できます

データの保護やシステム冗長化など不測の事態への対処を行ってください。

- 無停電電源装置（UPS）は内部回路の故障により出力が停止する場合があります。